

**化学災害又は生物災害時における
消防機関が行う活動マニュアル
【資料編】**

表1 主な化学剤の分類（再掲）

() 内はコード名

有毒化学剤	神経剤	G 剤	タブン (GA)、サリン (GB)、ソマン (GD)、 エチルサリン (GE)、シクロサリン (GF)
		V 剤	VX、VE、VM、VG、アミトン
		A 剤	ノビチョク (A-230、A-232、A-234)
	びらん剤		硫黄マスタード (H、HD)、窒素マスタード (H N)、 セスキマスタード (Q)、O-マスタード (T)、 ルイサイト (L)、ホスゲンオキシム (CX)、 フェニルジクロロアルシン (PD)、 エチルジクロロアルシン (ED)、 メチルジクロロアルシン (MD)
	窒息剤		ホスゲン (CG)、ジホスゲン (DP)、塩素 (CL)、 クロルピクリン (PS)、PFIB
	シアン化物・血液 剤		シアン化水素 (AC)、塩化シアン (CK)、 アルシン (SA)
無障害化学剤	無能力化剤		3-キヌクリジニルベンジラート (BZ)、 フェンタニル
	催涙剤		2-クロロベンジリデンマロノニトリル (CS)、 ジベンゾ-1、4-オキサゼピン (CR)、 クロロアセトフェノン (CN)
	嘔吐剤		アダムサイト (DM)、 ジフェニルクロロアルシン (DA)、 ジフェニルシアノアルシン (DC)

出所：必携NBCテロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008年発行）をもとに作成

表2 主な化学剤の性質

神 経 剤 ①			
化学物質名	タブン	サリン	ソマン
コード名	GA	GB	GD
性状	無色～茶色液体	無色液体	純品は無色
臭い	かすかに果実臭 純品は無臭	純品は無臭	液体果実臭 不純物がある場合は樟脳臭がある
蒸気密度 (空気=1)	重い (5.6)	重い (4.8)	重い (6.3)
半数致死曝露量 ^{※1} LCt ₅₀ (min・mg/m ³)	70 (吸入) 15,000 (経皮)	35 (吸入) 12,000 (経皮)	35 (吸入) 3,000 (経皮)
半数致死量 ^{※2} LD ₅₀ (mg/kg)	1,500	1,700	350
作用を及ぼす速さ	速い	速い	速い
難揮発性 (持久性)、揮発性	揮発性 サリンより残存しやすい	揮発性	揮発性 サリンより残存しやすい
症 状	蒸 気	少量～中等量	・縮瞳、結膜充血 ・鼻汁 ・軽度呼吸困難
		大量	・鼻や口から多量の分泌物 ・けいれん ・意識消失 ・無呼吸
	液 剤	少量～中等量	・局所の発汗 ・悪心・嘔吐
		大量	・意識消失 ・けいれん ・無呼吸
除染方法		乾的除染又は水的除染	
救急隊による患者搬送時の主な処置		<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸管理 ・気道確保 ・酸素投与 ・分泌物の頻回な気道内容の吸引 ・体位管理 ・神経剤解毒剤自動注射器の使用 	

出所：必携NBCテロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008年発行）をもとに作成

※1 ()内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも1分間の換気量が15ℓの場合

※2 液体に経皮曝露した場合(70kgの男性)

神 經 剤 ②			
化学物質名	シクロサリン	VX	
コード名	GF	VX	
性状	無色液体	純品は無色液体	
臭い	純品は無臭	無臭	
蒸気密度 (空気 = 1)	重い (6.2)	重い (9.2)	
半数致死曝露量 ^{※1} LC ₅₀ (min・mg/m ³)	35 (吸入) 3,000 (経皮)	15 (吸入) 150 (経皮)	
半数致死量 ^{※2} LD ₅₀ (mg/kg)	350	5	
作用を及ぼす速さ	速い	速い	
難揮発性 (持久性)、揮発性	揮発性 サリンより残存しやすい	難揮発性 (持久性)	
症 状	蒸 気	少量～ 中等量	<ul style="list-style-type: none"> ・縮瞳 ・結膜充血 ・鼻汁 ・軽度呼吸困難
		大量	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻や口から多量の分泌物 ・全身の筋攣縮 ・けいれん ・意識消失 ・無呼吸
	液 剤	少量～ 中等量	<ul style="list-style-type: none"> ・局所の発汗 ・悪心・嘔吐
		大量	<ul style="list-style-type: none"> ・意識消失 ・けいれん ・無呼吸 ・弛緩性麻痺
除染方法	乾的除染又は水的除染		
救急隊による患者 搬送時の主な処置	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸管理 ・気道確保 ・酸素投与 ・分泌物の頻回な気道内容の吸引 ・循環管理 ・保温 ・体位管理 ・神経剤解毒剤自動注射器の使用 		

出所：必携 NBC テロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008 年発行）をもとに作成

※1 () 内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも 1 分間の換気量が 15 ٪の場合

※2 液体に経皮曝露した場合 (70 kg の男性)

神 經 剤 ③			
化学物質名	ノビチヨク		
コード名	A230		
性状	液体又は固体		
臭い	無臭		
蒸気密度 (空気 = 1)	不明		
半数致死曝露量 ^{※1} LC ₅₀ (min・mg/m ³)	不明		
半数致死量 ^{※2} LD ₅₀ (mg/kg)	1 以下		
作用を及ぼす速さ	速い		
難揮発性 (持久性)、揮発性	難揮発性 (持久性)		
症 状	液 剤	少量～ 中等量	<ul style="list-style-type: none"> ・局所の発汗 ・嘔気・嘔吐 ・虚脱感
		大量	<ul style="list-style-type: none"> ・意識消失 ・痙攣 ・無呼吸 ・弛緩性麻痺
除染方法			乾的除染又は水的除染
救急隊による患者搬送時の主な処置			<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸管理 ・気道確保 ・酸素投与 ・分泌物の頻回な気道内容の吸引 ・循環管理 ・保温 ・体位管理 ・神経剤解毒剤自動注射器の使用

出所：必携 NBC テロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008 年発行）をもとに作成

※1 () 内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも 1 分間の換気量が 15 ㊦の場合

※2 液体に経皮曝露した場合 (70 kg の男性)

びらん剤①			
化学物質名	硫黄マスタード (マスタードガス、イペリット)		
コード名	HD (精製マスタード)、H (粗製マスタード)		
性状	淡黄～茶色の油状液体 純品は無色		
臭い	ニンニク臭又は西洋わさび (ホースラディッシュ) のような臭い		
蒸気密度 (空気 = 1)	重い (5.5)		
半数致死曝露量 ^{※1} LC ₅₀ (min・mg/m ³)	1,500 (吸入) 10,000 (経皮)		
半数致死量 ^{※2} LD ₅₀ (mg/kg)	4,500 (WHO Health aspects of chemical and biological weapons, 1970) 7,000 (U.S. army Fm3-9)		
作用を及ぼす速さ	遅延 (数時間～数日)		
難揮発性 (持久性)、揮発性	難揮発性 (持久性)		
症状	蒸気	少量～中等量	<ul style="list-style-type: none"> ・眼の刺激症状 ・充血や結膜炎 ・上気道の刺激症状
		大量	<ul style="list-style-type: none"> ・出血性肺水腫 ・骨髄幹細胞障害 (汎血球減少) ・消化管障害 (難治性嘔吐・下痢)
除染方法		<ul style="list-style-type: none"> ・乾的除染 ・水的除染 	
救急隊による患者搬送時の主な処置		<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な大量の水による除染 ・生理食塩水による眼の洗浄 ・乾燥した清潔なガーゼで皮膚損傷を被覆 ・保温 ・体位管理 	

出所：必携 NBC テロ対処ハンドブック (診断と治療社、2008 年発行) をもとに作成

※1 () 内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも 1 分間の換気量が 15 ٪の場合

※2 液体に経皮曝露した場合 (70 kg の男性)

びらん剤②			
化学物質名	窒素マスタード	ルイサイト	フェニルクロロアルシン
コード名	HN-1、HN-2、HN-3	L	PD
性状	暗色の油状液体 純品は無色	茶色の液体 純品は無色	無色～黄色の液体
臭い	純品は無臭 不純物がある場合はゼラニウム臭	純品は無臭 不純物がある場合はゼラニウム臭	無臭
蒸気密度 (空気=1)	重い (7.1)	重い (7.1)	重い (7.7)
半数致死曝露量※1 LC ₅₀ (min・mg/m ³)	1,000 (吸入) 10,000 (経皮)	1,000 (吸入) 5,000～10,000 (経皮)	2,600 (吸入)
半数致死量※2 LD ₅₀ (mg/kg)	1,400	1,400 (暫定値)	
作用を及ぼす速さ	遅延 (12 時間以上)	速い	眼には瞬時 皮膚には約 1 時間遅れる
難揮発性 (持久性)、揮発性	難揮発性 (持久性)	難揮発性 (持久性) マスタードより残存しにくい	難揮発性 (持久性) マスタードより残存しにくい
症状	蒸気	少量～中等量	<ul style="list-style-type: none"> ・眼の刺激症状 ・充血や結膜炎 ・上気道の刺激症状
		大量	<ul style="list-style-type: none"> ・出血性肺水腫 ・骨髄幹細胞障害 (汎血球減少) ・消化管障害 (難治性嘔吐・下痢)
除染方法		<ul style="list-style-type: none"> ・0.5%除染液 ・乾的除染 ・水的除染 	<ul style="list-style-type: none"> ・乾的除染 ・水的除染
救急隊による患者搬送時の主な処置		<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な大量の水による除染 ・生理食塩水による眼の洗浄 ・乾燥した清潔なガーゼで皮膚損傷を被覆 ・保温 ・体位管理 	

出所：必携 NBC テロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008 年発行）をもとに作成

※1 () 内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも 1 分間の換気量が 15 ٪の場合

※2 液体に経皮曝露した場合 (70 kg の男性)

びらん剤③			
化学物質名	エチルジクロロ アルシン	メチルジクロロ アルシン	ホスゲンオキシム
コード名	ED	MD	CX
性状	無色液体	無色液体	無色の固体
臭い	果実臭および刺激臭	強い刺激臭 純品は無臭	不快臭と刺激臭 低濃度では刈りたて の干し草の臭い
蒸気密度 (空気 = 1)	重い (6.0)	重い (5.5)	重い (3.9)
半数致死曝露量 ^{※1} LC ₅₀ (mg・min・mg/ m ³)	3,000~5,000 (吸入)		3,200 (吸入)
作用を及ぼす速さ	刺激作用は速い びらん作用は遅れる	刺激作用は速い びらん作用は遅れる	ほとんど瞬時
難揮発性 (持久 性)、揮発性	残存しにくい	残存しにくい	比較的残存しにくい
症 状	蒸 気	少量～ 中等量	<ul style="list-style-type: none"> ・眼の刺激症状 ・充血や結膜炎 ・上気道の刺激症状
		大量	<ul style="list-style-type: none"> ・出血性肺水腫 ・骨髓幹細胞障害 (汎血球減少) ・消化管障害 (難治性嘔吐・下痢)
除染方法		<ul style="list-style-type: none"> ・乾的除染 ・水的除染 	
救急隊による患者 搬送時の主な処置		<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な大量の水による除染 ・生理食塩水による眼の洗浄 ・乾燥した清潔なガーゼで皮膚損傷を被覆 ・保温 ・体位管理 	

出所：必携 NBC テロ対処ハンドブック (診断と治療社、2008 年発行) をもとに作成
 Stewart, C. E., Sullivan, Jr., J. B. (1992). In Hazardous Materials Toxicology - Clinical Principles of Environmental Health (J.B. Sullivan, Jr. and G.R. Krieger, Eds.), pp.986-1014. Williams & Wilkins, Baltimore, MD

※1 () 内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも 1 分間の換気量が 15 ㊦の場合

窒 息 剤		
化学物質名	ホスゲン	ジホスゲン
コード名	CG	DP
性状	液化しやすい無色の気体	無色の油状液体
臭い	新しい干し草の臭い又は 腐敗果実臭	新しい干し草の臭い
蒸気密度 (空気 = 1)	重い (3.4)	重い (6.8)
半数致死曝露量 ^{※1} LCt ₅₀ (mg→min・mg/ m ³)	1,500 (吸入)	1,500 (吸入)
作用を及ぼす速さ	瞬時～3時間、 濃度に依存 (高濃度曝露の場合は速 い)	瞬時～3時間、 濃度に依存 (高濃度曝露の場合は 速い)
難揮発性 (持久 性)、揮発性	揮発性	揮発性 ホスゲンより残存しやすい
症状	初期症状	・流涙を伴う一過性の刺激症状の化学性結膜炎 ・咳と胸骨下圧迫感 (胸部絞扼感)
	一定期間後	・急激な肺水腫 ・咽頭けいれん
除染 方法	液体曝露	水的除染
	蒸気曝露	新鮮な空気
救急隊による患者 搬送時の主な処置	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸管理 (呼吸困難がある重症例では挿管などの呼吸管理が必要) ・酸素投与 ・保温 ・体位管理 	

出所：必携 NBC テロ対処ハンドブック (診断と治療社、2008 年発行) をもとに作成

※1 () 内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも 1 分間の換気量が 15 ㊦の場合

シアン化物・血液剤		
化学物質名	シアン化水素、青酸	塩化シアン
コード名	AC	CK
性状	無色で揮発性の高い液体または気体	無色の気体
臭い	苦味のあるアーモンド臭又は無臭	強い刺激臭と流涙作用
蒸気密度 (空気=1)	軽い (0.93)	重い (2.1)
半数致死曝露量 ^{※1} LC ₅₀ (mg・min・mg/ m ³)	2,860 (吸入)	11,000 (吸入)
作用を及ぼす速さ	速い	速い
難揮発性 (持久性)、揮発性	揮発性	揮発性
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・チアノーゼを示さない呼吸困難 ・頻呼吸 ・“サクランボ色の赤い”皮膚 ・けいれん 	
除染方法	小～中濃度	不必要
	高濃度	水的除染
救急隊による患者搬送時の主な処置	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸管理 ・酸素投与 ・保温 ・体位管理 	

出所：必携NBCテロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008年発行）をもとに作成
 Stewart, C. E., Sullivan, Jr., J. B. (1992). In Hazardous Materials Toxicology - Clinical Principles of Environmental Health (J.B. Sullivan, Jr. and G.R. Krieger, Eds.), pp.986-1014. Williams & Wilkins, Baltimore, MD

※1 () 内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも1分間の換気量が15ℓの場合

無能力化剤		
化学物質名	3-キヌクリジニルベンジラート	フェンタニル
コード名	BZ	—
性状	白色の固体	白色の固体
臭い	無臭	無臭
蒸気密度 (空気=1)	重い (11.6)	不明
作用を及ぼす速さ	遅延 (曝露条件により 1～4 時間)	速い
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・アトロピン様症状 (散瞳、口渇、頻脈) ・めまい ・見当識障害 ・錯乱 ・混迷 	<ul style="list-style-type: none"> ・縮瞳 ・意識低下 ・呼吸機能の低下 ・血中酸素濃度低下、血液の酸性化 ・低血圧 ・脈拍低下 ・ショック症状 ・胃の運動低下、消化能力低下 ・肺水腫 ・意識消失
除染方法	乾的除染又は水的除染	
救急隊による患者搬送時の主な処置	<ul style="list-style-type: none"> ・保温 ・体位管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸管理 ・気道確保 ・酸素投与 ・分泌物の頻回な気道内容の吸引 ・体位管理

出所：必携NBCテロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008年発行）をもとに作成

催 涙 剤			
化学物質名	2-クロロベンジリデン マロノニトリル	ジベンゾ-1、 オキサゼピン	クロロアセト フェノン
コード名	CS	CR	CN
性状	白色の固体	淡黄色の個体	無色～灰色の固体
臭い	カラシ様の臭い	カラシ様の臭い	鋭い刺激臭
蒸気密度 (空気=1)	重い (6.5)	重い (6.7)	重い (5.3)
半数致死曝露量 ^{※1} LCt ₅₀ (min・mg/m ³)	52,000～61,000 (吸入)		7,000 (吸入)
作用を及ぼす速さ	瞬時	瞬時	瞬時
難揮発性 (持久 性) 揮発性	揮発性 (エアロゾルの場 合)	CS より残存しや すい	揮発性 (エアロゾルの 場合)
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤に曝露した粘膜、皮膚の灼熱感と疼痛 ・眼の疼痛と流涙 ・鼻腔内の灼熱感 ・呼吸困難 		
除染 方法	強い風	不必要	
	眼又は 皮膚に曝露	<ul style="list-style-type: none"> ・眼は、水または生理食塩水で洗浄 ・皮膚は、大量の水、アルカリ性石けん水、弱アルカリ性溶液 (重炭酸ナトリウム・炭酸ナトリウム溶液) で洗浄 	
救急隊による患者 搬送時の主な処置	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸管理 ・酸素投与 ・保温 ・体位管理 		

出所：必携NBCテロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008年発行）をもとに作成
Stewart, C. E., Sullivan, Jr., J. B. (1992). In Hazardous Materials Toxicology - Clinical Principles of Environmental Health (J.B. Sullivan, Jr. and G.R. Krieger, Eds.), pp.986-1014. Williams & Wilkins, Baltimore, MD

※1 () 内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも1分間の換気量が15ℓの場合

嘔吐剤			
化学物質名	アダムサイト	ジフェニル クロロアルシン	ジフェニル シアノアルシン
コード名	DM	DA	DC
性状	淡黄色～緑色の個体	純品は無色の個体	無色の固体
臭い	特に臭いはないが 刺激臭がある	無臭	ニンニクと苦味のあ るアーモンド臭
蒸気密度 (空気=1)	重い (9.6)	重い (9.1)	重い (8.8)
半数致死曝露量 ^{※1} LC ₅₀ (min・mg/m ³)	11,000 (吸入)	15,000 (吸入)	10,000 (吸入)
作用を及ぼす速さ	速い	速い	速い
難揮発性 (持久 性)、揮発性	揮発性 (エアロゾル の場合)	揮発性 (エアロゾル の場合)	揮発性 (エアロゾル の場合)
症状	小～ 中濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻、副鼻腔など上気道への刺激作用が強く、くしゃみを誘発 ・前頭部の激痛や耳、顎、歯に疼痛 	
	高濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・胸痛 ・呼吸困難 ・悪心・嘔吐 ・めまい ・ふらつき ・抑うつ ・全身倦怠感 	
除染方法	乾的除染又は水的除染		
救急隊による患者 搬送時の主な処置	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸管理 ・酸素投与 ・保温 ・体位管理 		


出所：必携NBCテロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008年発行）をもとに作成
Stewart, C. E., Sullivan, Jr., J. B. (1992). In Hazardous Materials Toxicology - Clinical Principles of Environmental Health (J.B. Sullivan, Jr. and G.R. Krieger, Eds.), pp.986-1014. Williams & Wilkins, Baltimore, MD

※1 () 内は曝露経路、経皮曝露は蒸気への曝露、いずれも1分間の換気量が15ℓの場合

表3 CDCによる生物テロに使用可能な生物剤、関連疾患のカテゴリー分類（再掲）

カテゴリーA
<p>現在、国の安全保障に影響を及ぼす最優先の病原体で、容易に人から人へ伝搬し、死亡率が高く、社会的パニックや混乱を起こすおそれがあり、公衆衛生上の影響が非常に大きい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 炭疽（炭疽菌） 2. ボツリヌス症（ボツリヌス毒素） 3. ペスト（ペスト菌） 4. 天然痘（痘そうウイルス） 5. 野兔病（野兔病菌） 6. エボラ出血熱・マールブルグ出血熱・クリミア・コンゴ出血熱等のウイルス性出血熱
カテゴリーB
<p>第二優先対策の病原体で比較的容易に伝播し、中程度の感染率で死亡率は低く、疾病サーベランス強化を必要とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブルセラ症（ブルセラ属菌） 2. ε毒素産生性ウェルシュ菌 3. 食品関連感染症病原体（サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌 O157:H7、赤痢菌、等） 4. 鼻疽（鼻祖菌） 5. 類鼻祖（類鼻祖菌） 6. オウム病（オウム病クラミジア） 7. Q熱（コクシエラ菌） 8. リシン 9. ブドウ球菌エンテロトキシンB 10. 発疹チフス（チフス菌） 11. ウイルス性脳炎（ベネズエラウマ脳炎ウイルス、東部ウマ脳炎ウイルス、西部ウマ脳炎ウイルス） 12. 水家感染病原体（コレラ菌、クリプトスポリジウム、等）
カテゴリーC
<p>将来危険となりうる病原体で入手、生産、散布が容易で、感染率と死亡率が高く、広範囲に散布可能で公衆衛生上大きな影響を与える可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新興感染症病原体（ニパウイルス、ハンタウイルス、等）

表4 カテゴリーAに分類される主な生物剤の性質


炭疽 (Anthrax)			
	吸入（肺）炭疽	皮膚炭疽	腸炭疽
感染経路	経気道	菌との接触 (特に創傷部)	経口
分類	細菌		
カテゴリー	A		
潜伏期間	1～7日	0.5～3日	1～7日
症状	初期症状	<ul style="list-style-type: none"> ・浮腫 ・痒み伴う斑丘疹 ・円形の潰瘍 ・1～3mmの小疱疹 ・無痛性黒色の痂皮形成 (発熱、頭痛、リンパ節腫張) 	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔又は食道の潰瘍 ・リンパ節腫張 ・浮腫 ・悪心・嘔吐 ・不快感 ・腹痛 ・下痢
	後期症状	<ul style="list-style-type: none"> ・急な発熱 ・血痰 ・胸痛 ・呼吸困難 ・多量の発汗 ・チアノーゼ ・ショック ・髄膜炎（メニンギスミス、せん妄、感覚鈍麻） 	<ul style="list-style-type: none"> ・急速に進展する血性下痢 ・吐血 ・急性腹症 ・敗血症 ・ショック ・原発性の腸病変 ・大量の腹水
致死率	<ul style="list-style-type: none"> ・無治療では86%以上 ・適切な治療で約50% 	<ul style="list-style-type: none"> ・無治療では10～20% ・適切な治療で1%以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・無治療では25～60%
所見			

写真提供：国立感染症研究所

出所：必携NBCテロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008年発行）をもとに作成

ペスト (Plague)			
	腺ペスト	敗血症ペスト	肺ペスト
感染経路	ペスト感染ネズミやリス等のげっ歯類に吸着した蚊やノミ等からの経皮感染。	腺ペストからリンパ又は血流を介して、脾や肝等全身に伝播し、敗血症に移行。	・腺ペスト末期、敗血症ペストの経過中に菌が肺に侵入。 ・肺ペスト患者から排出されたエアロゾルを吸入。
分類	細菌		
カテゴリー	A		
潜伏期間	2～8日		1～6日
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・急激な発熱 ・頭痛 ・悪寒 ・倦怠感 ・不快感 ・食欲不振 ・嘔吐 ・筋肉痛 ・脱力感 ・精神混濁 ・鼠径部、腋窩、頸部などのリンパ節に、圧痛を伴うクルミ大の腫脹 ・酩酊様顔貌（ペスト顔貌） ・疼痛を伴う出血性化膿性炎症（膿瘍） ・ショック ・昏睡 ・黒い皮下出血斑 	<ul style="list-style-type: none"> ・昏睡 ・手足の壊死 ・紫斑 ・黒い皮下出血斑 	<ul style="list-style-type: none"> ・強烈な頭痛 ・嘔吐 ・発熱 ・急激な呼吸困難 ・咳嗽 ・胸痛 ・鮮紅色で泡立つ血痰 ・喀痰（粘膿性又は水溶性） ・チアノーゼ ・細菌性ショック ・呼吸不全 ・敗血症 ・昏睡 ・手足の壊死 ・紫斑 ・多臓器不全
致死率	・無治療では 40～90%	・2～3日で死亡	<ul style="list-style-type: none"> ・無治療ではほぼ 100% ・1～2日で死亡

出所：必携 NBC テロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008 年発行）をもとに作成

ウイルス性出血熱 (Viral Hemorrhagic Fever)			
	エボラ出血熱	マールブルグ病	クリミア・ コンゴ出血熱
感染経路	菌との接触		
分類	ウイルス		
カテゴリー	A		
潜伏期間	2～21日	3～10日	2～9日
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱 ・頭痛 ・結膜炎 ・筋肉痛 ・喉の痛み ・嘔吐 ・下痢 ・吐血 ・下血 ・丘疹～紅斑様の発疹 ・粘膜（下）出血 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱 ・頭痛 ・悪寒 ・筋肉痛 ・皮膚粘膜発疹 ・咽頭結膜炎 ・下痢 ・鼻口腔・消化管出血 ・黄疸 ・全身衰弱 ・精神錯乱 ・多臓器不全 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱 ・頭痛 ・悪寒 ・筋肉痛 ・関節痛 ・点状又は斑状出血（特に鼻口腔、消化管、上半身皮下） ・吐血 ・メレナ ・黄疸 ・肝腫大
致死率	・25～90%	・30～80%	・5～40%
所見			 <p>写真提供 国立感染症研究所</p>

出所：必携 NBC テロ対処ハンドブック（診断と治療社、2008年発行）を参考にして作成

	天然痘 (Smallpox)	ボツリヌス症 (Botulism)	野兔病 (Tularemia)
感染経路	経気道、菌との接触	経口、経気道	菌との接触
分類	ウイルス	毒素	細菌
カテゴリー	A	A	A
潜伏期間	7～17日	経口…12～36時間 経気道…24～72時間	2～10日
症状	初期症状	<ul style="list-style-type: none"> ● 18時間前後 ・腹痛 ・嘔吐 ・下痢 ・眼の焦点が合わない ・嚥下困難 ・口渇 ・会話困難 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般症状 ・発熱 ・頭痛 ・悪寒 ・嘔気 ● リンパ節型 ・局所の壊死 ・潰瘍 ・所属リンパ節腫脹 ・化膿
	後期症状	<ul style="list-style-type: none"> ・発疹（紅斑→丘疹→水疱→膿疱→結痂→落屑と規則正しく移行） ・疼痛 ・呼吸困難 	<ul style="list-style-type: none"> ● 24～36時間 ・瞳孔散大 ・複視 ・眼瞼下垂等の左右対称性の弛緩性麻痺 ・顎力低下 ・発語障害 ・嚥下困難 ・呼吸困難 ・分泌障害
致死率	無治療では20～50%	無治療では10～70%	無治療では約30%
所見	 <p>写真提供 国立感染症研究所</p>		

出所：必携 NBC テロ対処ハンドブック

■別記様式

■活動チェックシート

様式 1 (第 2 章 第 1 節 第 1 関係)

通報時における情報収集

<p>◆時刻</p> <p>発生時刻： _____年 _____月 _____日 _____時 _____分</p> <p>入電時刻： _____年 _____月 _____日 _____時 _____分</p> <p>指令時刻： _____年 _____月 _____日 _____時 _____分</p>
<p>◆災害の種別</p> <p><input type="checkbox"/> 火災 (爆発含む) <input type="checkbox"/> 救助 <input type="checkbox"/> 救急 <input type="checkbox"/> 警戒</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (_____)</p>
<p>◆発生場所</p> <p>_____市 _____町 _____丁目 _____番 _____号</p> <p>_____宅 _____号棟 _____号室</p>
<p>◆通報者等</p> <p>名前： _____ 男 ・ 女</p> <p>電話番号： _____</p>
<p>◆要救助者に関する情報</p> <p>① 要救助者の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 詳細 (_____ 名)</p> <p>② 負傷者の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 詳細 (_____ 名)</p> <p>③ 負傷者の汚染の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p>
<p>◆災害の概要</p>
<p>◆化学災害又は生物災害に関する情報</p> <p><input type="checkbox"/> 多数の傷病者が目、鼻、咳等の異状を訴えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 多数の傷病者が発生している場所付近での異臭、動植物の異常な死体、枯死がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 化学・生物剤散布等について目撃した者がいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 容疑者、犯人のテロ行為の予告実行がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 化学剤、生物剤が入っていたと思われる不審なビニール袋、ビン、散布器等が残留している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他化学災害又は生物災害と疑わしい事柄がある。</p> <p>(_____)</p>
<p>◆追加聴取内容</p> <p><input type="checkbox"/> 発生場所の詳細 (建物内、屋外、地下〇〇階・・・)</p> <p><input type="checkbox"/> 倒れている人及び気分不良を訴えている人の人数及び症状※¹</p> <p><input type="checkbox"/> 事故及び多数の傷病者の発生等に係る原因</p> <p><input type="checkbox"/> 漏洩等している物質の名称、漏洩量、毒性、性状 (液体、気体等)、致死率</p> <p><input type="checkbox"/> 住民、従業員等の避難状況</p> <p><input type="checkbox"/> <u>事故の推移、時間経過</u></p> <p><input type="checkbox"/> 不審なビニール袋、容器、収納物、散布機等の残留物の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 粉等を散布している不審者の目撃者又は目撃証言の有無</p> <p><input type="checkbox"/> その他通報場所周囲の異常な状況</p> <p>(_____)</p>
<p>◆通報者に対し、確認・依頼する項目</p> <p><input type="checkbox"/> 現場に出動した消防隊と必ず接触すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 原因物質等から離れ、接触しないこと。</p> <p><input type="checkbox"/> 身体露出部分の防護をすること。</p> <p><input type="checkbox"/> 原因物質等に直接触れた者に対して、周囲の者を近づかせないようにすること。</p> <p><input type="checkbox"/> 口や鼻をタオル又はハンカチ等で覆いながら、建物内では屋外 (風上側) へ、屋外では発生場所の風上 (可能な限り消防指令室の気象情報を鑑みて具体的に指示) に向かって避難すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 建物内では、管理人等に前述の要請事項及び消防機関等が対応中である旨について放送等で説明するよう指示すること。</p>

※1 以下 2 項目を満たす場合には、神経剤による化学テロ等を疑う。

- ・自力で動けない傷病者が複数名おり、かつ、外傷による事案ではない場合
- ・鼻汁、流涎、視覚異常、眼痛・流涙、呼吸苦等の症状がある場合

様式2 (第2章 第2節 第3 2関係)

特殊災害報告書 (情報共有のための状況データ)

医療関係者・警察・消防 → 日本中毒情報センター用

[第__報] 報告日時: _____年__月__日__時__分 (西暦及び24時間表記)

1. 報告者: (所属) _____ (氏名) _____
: (TEL) _____ (FAX) _____
2. 報告内容: _____

3. 現地到着日時: _____年__月__日__時__分 (西暦及び24時間表記)
4. 発災日時: _____年__月__日__時__分 (西暦及び24時間表記)
5. 発災場所: a) 屋内 b) 屋外 c) その他 _____
5-1. 施設名 (ビル・工場・会社名など) _____
5-2. 施設の規模 (何階建て? 常時使用人数は? など) _____
5-3. 発災場所の詳細 (何階? 個室 or ロビー? など) _____
6. 投射手段 (散布法等): a) 爆弾 b) 噴霧器 c) その他 _____
7. 被災者発生数 (推測)
a) 10人以下 b) 10人~20人 c) 20人~50人 d) 50人以上 e) 約 _____人
8. 特殊災害種類 (可能性含む)
a) 化学剤 b) 爆発物 c) 核/放射性物質 d) 生物剤
9. 起因物質の情報 (推測)
9-1. 推定物質: _____ b) 不明
9-2. a) 液体 b) 固体 c) 気体 d) その他: _____ e) 不明
9-3. 臭い・色など: _____
10. 被災者の発現症状
10-1. 眼の所見 充血・涙・痛み・見え方 (暗い・かすむ) など _____
10-2. 皮膚の所見 汗で湿潤・発赤・水ぶくれ・痛み・びらん など _____
10-3. 分泌物の所見 鼻水・唾液 など _____
10-4. 神経・筋症状 意識低下・頭痛・震え・けいれん など _____
10-5. 呼吸器症状 咳・息苦しさ・呼吸回数 など _____
10-6. 消化器症状 悪心・嘔吐・腹痛・下痢 など _____
10-7. その他症状 _____
11. 検知: a) 検知物質: _____ (検知器: _____) b) 未検知
12. 除染: a) 不要 b) 乾的除染 c) 水除染 d) その他: _____
13. 個人防護装備 (PPE): 不要 必要 (レベル: _____)
14. 重症度: a) 重症 (____人) b) 中等症 (____人) c) 軽症 (____人)
d) その他: _____
15. 被災者の主たる搬送先: _____

様式3 (第3章関係)

部隊運用状況

発生時刻	年 月 日 () 時 分			
発生場所	市 町 丁目 番 号 宅 号棟 号室			
経緯 (時刻)	覚 知	:	簡易検知開始	:
	出 動	:	救助活動開始	:
	現 着	:	救助活動終了	:
	現場指揮本部設置	:	除染活動開始	:
	現地調整所設置	:	除染活動終了	:
	進入統制ライン設定	:	進入隊員交替①	:
	消防警戒区域設定	:	進入隊員交替②	:
	ホットゾーン設定	:	進入隊員交替③	:
	除染所の設置	:	進入隊員交替④	:
	2次トリアージポスト設置	:	救急搬送開始	:
	救護所設置	:	救急搬送終了	:
		:	活動終了	:
出場 状況	消防機関	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮隊 隊 名 ・消防隊 隊 名 ・救助隊 隊 名 ・救急隊 隊 名 ・その他 隊 名 <p>【応援消防本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮隊 隊 名 ・消防隊 隊 名 ・救助隊 隊 名 ・救急隊 隊 名 ・その他 隊 名 <p style="text-align: right;">計 隊 名</p>		
	警察	隊 名		
	自衛隊	隊 名		
	その他関係機関	隊 名		
	合 計	隊 名		
現地調整所 構成員	活動機関	職・氏名	活動機関	職・氏名
	消防		都道府県庁	
	警察		医療機関	
	自衛隊		保健所	
	市役所			

様式4（第3章関係）

活動隊編成票

活動隊の任務	簡易検知活動・救助活動・除染活動・その他（ ）				
活動隊の編成	進入隊	指揮者	隊員名		
	隊				
	隊				
活動隊の時間	活動隊	活動開始時分	活動終了時分	延活動時間	
	隊	日 時 分	日 時 分	時間	分
	隊	日 時 分	日 時 分	時間	分
簡易検知活動※1	日 時 分				
救助活動					
除染活動					
特記事項					
進入地点略図	4 +				

※1 簡易検知した物質、値の最大値及び測定場所について記入

様式5 (第3章関係)

個人活動記録票

階 級		氏 名		
生 年 月 日		年 齢		
現 場 任 務	<input type="checkbox"/> 簡易検知活動 <input type="checkbox"/> 救助活動 <input type="checkbox"/> 1次トリアージ <input type="checkbox"/> 除染活動 <input type="checkbox"/> その他	ホットゾーン 又は ウォームゾーン 進入時間	進 入 時 間	日 時 分
			退 去 時 間	日 時 分
			延進入時間	時間 分
ホットゾーン 又は ウォームゾーン 進入退去時の 確認状況	防 護 措 置 状 況	<input type="checkbox"/> レベルA防護措置 <input type="checkbox"/> レベルB防護措置 <input type="checkbox"/> レベルC防護措置		
	検 知 資 機 材	<input type="checkbox"/> 化学剤検知器 <input type="checkbox"/> 生物剤検知器 <input type="checkbox"/> 放射線測定器 <input type="checkbox"/> 個人警報線量計 <input type="checkbox"/> 可燃性ガス測定器 <input type="checkbox"/> 酸素濃度測定器 <input type="checkbox"/> 有毒ガス測定器		
	自 給 式 空 気 呼 吸 器	<input type="checkbox"/> 進入時_____MPa 活動時間約_____分 <input type="checkbox"/> 退出時_____Mpa		
	携 行 資 機 材			
	検 知 結 果	<input type="checkbox"/> 化学剤検知器 検知物質_____, 濃度_____ <input type="checkbox"/> 生物剤検知器 検知物質_____ <input type="checkbox"/> 放射線測定器 _____mSv/h <input type="checkbox"/> 個人警報線量計 _____mSv <input type="checkbox"/> 可燃性ガス測定器 _____ppm <input type="checkbox"/> 酸素濃度測定器 _____% <input type="checkbox"/> 有毒ガス測定器 検知物質_____, 濃度_____		
隊員の除染方法	<input type="checkbox"/> 乾的除染 <input type="checkbox"/> 水除染 <input type="checkbox"/> 無			
医 療 機 関 での 処 置	<input type="checkbox"/> 医療機関名 (_____) 病院 <input type="checkbox"/> 医 師 名 (_____) 医師 <input type="checkbox"/> 処 置 内 容 (_____)			
特 記 事 項				

様式6 (第3章 第2節 第5 2関係)

化学災害又は生物災害時における曝露者情報用紙

1. 聴取日時：_____年___月___日___時___分 (西暦及び24時間表記)

2. 発災場所：_____

3. 曝露者情報

・生年月日：M・T・S・H _____年___月___日生 _____歳 男・女

・氏名：_____

・住所：_____

・電話番号：_____

・歩行：可・不可

・意識レベル：GCS E V M () JCS _____

・呼吸数：_____回 異状呼吸 有・無

・脈拍：_____回 脈拍異状 有・無

・血圧：最高血圧_____ / 最低血圧_____

・血中酸素飽和度：_____％ ⇒ 酸素_____リットル投与 ⇒ _____％

・体温：_____℃

・眼の所見

瞳孔：右_____mm 十・一 / 左_____mm 十・一

充血：有・無 涙：有・無 痛み：有・無

見え方：暗い・かすむ その他：_____

・皮膚の所見

発汗：有・無 発赤：有・無 水ぶくれ：有・無

痛み：有・無 びらん：有・無 その他：_____

・分泌物の所見

鼻水：有・無 唾液：有・無 その他：_____

・神経・筋症状

頭痛：有・無 震え：有・無 痙攣：有・無

・消化器症状

悪心：有・無 嘔吐：有(____回)・無

腹痛：有・無 下痢：有・無 その他：_____

・既往歴：_____病院 服用薬_____

・抗生物質に対するアレルギー：有・無・不明

・解毒剤自動注射器の処置：有(本数：____本)・無

・除染：有(脱衣・即時・緊急除染・放水除染・専門除染)・無

・搬送先病院：_____

出動前の措置

- 消防指令室からの情報（風向、風速、地形、建物状況等）の確認
- 出動経路の確認（地図等を活用）
- 周囲の状況を確認し、危険がない場所（指令場所から風上で、空気が滞留しにくい風通しの良い場所等）を部署目標
- テロが疑われる場合には、二次災害や二次攻撃等に備え、部署目標よりも離れた場所に一時的に集結
- 必要に応じた対応資機材の追加積載（使用頻度の高い空気ボンベ等を後続部隊のトラック等で搬送）

出動途上の措置

- 検知資機材の起動
- 関係者（通報者）の現在位置、現場の状況、発生の経緯等の情報を入手
- 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等）の確認、消防指令室への報告
- 車両部署位置に関する通報場所、風向等の変更情報の確認
- 発災場所付近に到着後は、車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードに切り替え

現場到着時の措置

- 車両部署位置、後着隊の部署位置の報告
- 周囲の状況を消防指令室に報告（倒れている者、異臭等）
- 関係者（通報者）と早期に接触し、情報を入手
- 風上の確認（吹流し、風向風速計等の活用）

情報収集

五感を活用しつつ、関係者（通報者）や各種表示、イエローカード等の資料などから次に掲げる情報を収集し報告する。

ア 施設、現場に関する情報

- 災害発生場所の所在及び建物等の状況
- 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況
- 電気・変電設備、漏電、不活性ガス消火設備等の状況
- 消防活動上の留意点（注水危険箇所、破壊・損壊危険箇所、立入制限箇所）

イ 被災者に関する情報

- 要救助者及び負傷者の人数及び症状
- 原因物質による被害の有無及び被害拡大の危険性
- 住民、従業員等の避難状況

ウ 原因物質に関する情報

- 臭気等の異常の有無
- 原因物質の名称、性状、漏えい等の状況

エ 発災原因に関する情報

- 不審物、不審車両、不審人物の有無

オ その他の情報

- 発災時間（発災からの時間経過）
- 関係者による応急措置の内容及び実施状況
- その他消防活動上必要な情報

消防警戒区域の設定

部隊規模や以後の活動（区域設定、除染所、救護所の設置、救急車の運用等）を考慮し必要となる距離・スペースを確保する。

- 外周を標識等により明示
- 風上の確認（吹流し、風向風速計等の活用）
- 設定時の警察機関との連携
- 症状のない通行人、住民の誘導及び進入規制を警察機関に依頼
- 消防警戒区域の範囲を明確に広報
- 区域内からの退避及び区域内への出入りの禁止又は制限

進入統制ラインの設定

周囲の状況等を確認し、危険がない場所に進入統制ラインを設定

※ 設定時の判断基準

- 発災からの時間経過
- 設定時点の災害状況（発災場所、気象状況、臭気の有無）
- 傷病者の人数や症状等
- ロープ、標識等に加え、文字情報によりラインを明示

区域設定（ゾーニング）

設定範囲は、発災場所（地形、屋内外等）、気象状況、漏洩等した化学剤又は生物剤の種類、形態、量などによって変化する。

ア 各ゾーン共通

- 風上の確認（吹流し、風向風速計等の活用）
- ゾーンの外周を標識等により明示
- ゾーン設定後は、現地調整所において関係機関と共有

イ ホットゾーン

- 地下鉄・地下街が災害現場の場合、地上への出入口及び通気口が多数存在するため、地図等を活用して拡散する可能性がある「出入口、通気口、換気口、排気口等」ごとにホットゾーンを設定
- 施設内に人がいないことを確認した場合、化学剤又は生物剤を施設内に閉じ込めるような措置（開口部の閉鎖、空調の停止等）の実施
- 噴霧器等で建物等の空調設備を利用したテロ行為の場合、屋外の風下側にホットゾーンを設定

ウ ウォームゾーン

- 発生場所から風上に設定

※ 原因物質が推定できた後

初動時に設定したゾーンを災害の進展や推定できた物質の特性に適したものとするため、適宜ゾーンの見直し及び設定範囲の変更を実施する。

- ERG (2020 Emergency Response GuideBook) の活用 (化学災害の場合のみ)

簡易検知活動

- 災害に適合した防護措置を講じた少なくとも2名以上の隊員で実施
- 化学剤検知器、生物剤検知器、放射線測定器、個人警報線量計、可燃性ガス測定器、酸素濃度測定器及び有毒ガス測定器を活用
- 簡易検知活動の位置ごとに検知結果を現場指揮本部に報告
- 環境や検知器の検知サイクル等を勘案するとともに、定点検知等も考慮
- 可及的速やかな移動速度で検知・測定
- 警察機関、保健所等の関係機関が検知資機材を保有している場合は連携して実施
- 警察機関、日本中毒情報センター、保健所、医療機関等へ情報を提供

※ 緊急退避

ア 簡易検知活動中に次の事象が発生した場合には、安全な場所に緊急退避する。

- 防護服に破れ等の異常
- 空気呼吸器の異常
- 活動中に受傷する等の事故
- 検知器の作動不能
- 放射線測定器の数値の急激な上昇
- 個人警報線量計の警報
- 高濃度 (爆発下限界の値の30%を超えるガス濃度) の可燃性ガスの検知
- 関係者からの助言
- その他異常

イ 高濃度の可燃性ガスを検知したときには、一旦退避しなければならないが、人命救助等緊急やむを得ず活動を行う必要がある場合には、次の安全措置を講じ、最小限の隊又は隊員で活動する。

- 可燃性ガスによる危険性と原因物質による危険性を比較した上で、防護服を選定する。
(難燃性を有する化学防護服の着装、防火衣の着装など)
- 静電気発生防止措置 (防護服、防火衣を水で濡らす。)
- 火花を発生する機器のスイッチ操作の禁止 (携帯無線機、照明器具等)
- 爆発防止のため可燃性ガスの拡散 (噴霧注水、送風等による拡散)
- 援護注水態勢の確保

救助活動

最低3人以上で行うことが望ましい。ただし、安全が確保されている場合や1人で搬送できる場合などには、適当な人員で活動することも可能である。

- 最低3人以上の待機（交替）要員を確保
- ホットゾーン内で活動する隊員の活動時間の報告
- 要救助者を発見時：合図、無線等で現場指揮本部に報告
- 状況に応じたショートピックアップの実施
- 自給式空気呼吸器のボンベの交換：コールドゾーンで実施
- 神経剤が疑われた場合の解毒剤自動注射器の使用の判断

危険排除

- 実施可能な場合に、拡散防止シート等（容器なら密閉容器に入れる。）で覆う。
- ビデオカメラ等を活用した写真（動画）撮影、又は書面で剤の漏洩、拡散状況等の記録
 - ※ 漏洩、拡散状況や危険排除の記録方法は、警察機関との調整を考慮
- 危険排除実施者は、着手前に小隊長等に報告
- 現場最高指揮者からの許可後に着手する。（現場最高指揮者現場到着前：小隊長等）
- 散布器等による生物剤のテロの場合、検体（粉等）を採取後に必ず密閉する。

歩行可能な曝露者の誘導

- ホットゾーンで曝露した可能性のある歩行可能な者を曝露者集合場所まで誘導
- 災害対応ピクトグラムなどの活用

集管理（生物災害時に限る。）

- 発建造物内の講堂等の広めの部屋を用意
- 口、鼻等をタオルやハンカチ等で覆うように指示
- 建物内の放送設備等を活用した集管理場所までの誘導

1次トリアージ

- 曝露者集合場所を可能な限りホットゾーンから風上に設定
- 曝露者集合場所を看板で表示するか、目印のある場所を指定
- 曝露者集合場所を有症者集合場所と無症状者集合場所に区分
- START法は使用せずに有症者を「歩行不可能者（曝露者用）、歩行可能者（男性用）、歩行可能者（女性用）」に区分
- 原則としてトリアージタグを使用しない。
 - ※ 傷病者の容態を共有するために、独自のチェックシート等を活用することもある。
- 災害対応ピクトグラムなどの活用
- 季節や天候等により、被災者の低体温対策（保温措置）を実施

除染活動

- ウォームゾーンとコールドゾーンの境界付近に除染所を設置
- 除染活動に適した防護服の選択
- 神経剤が疑われた場合の解毒剤自動注射器の使用の判断

ア 曝露者の症状及び人数、発災時の環境、原因物質の特性等を踏まえて、除染方法を判断

- 脱衣
- 即時・緊急除染（乾的除染）
- 放水除染
- 専門除染

イ 環境除染

- 現地調整所等における協議により決定
- 警察機関や自衛隊と十分に連携しながら現場保存にも留意

ウ 使用資機材の除染

- 各種検知器や化学防護服
- 救出活動等に使用した担架、台車、拡声器など
- 車両

エ 活動隊員の除染

- 化学防護服の靴裏に原因物質の残存のおそれがあるため、細部まで注意する。

オ 汚水処理

- 汚水回収用水槽の設置
- 除染に利用した空の防火水槽等への回収
- 吸水性土嚢の活用

広報・避難誘導

他機関と連携して、広報車、拡声器等を使用し、避難場所への誘導及びコールドゾーン（消防警戒区域）からの退去を指示する。

- 要援護者施設（病院、老人ホーム、保育園等）を重点的に実施
 - 災害対応ピクトグラムなどの活用
 - 曝露した疑いのある者に対し、口、鼻等をタオルやハンカチ等で覆うように指示
 - 1次トリアージを受けずに、ホットゾーンからコールドゾーンに避難してきた者は、除染所に誘導
 - コールドゾーン内で症状が出ていない者（ホットゾーンから避難してきた者を除く。）は、2次トリアージポストへ向かうよう誘導
- ※ 観察を受けた後に消防警戒区域の外に出るように指示
- コールドゾーンの外側にいた者で、帰宅途中等に気分不良を訴えた場合、**消防又は警察に連絡し**、消防に指定された病院に行くように周知

2次トリアージ

2次トリアージポストにおいて、救急隊員（救急救命士）が医師等と連携し、トリアージタグをつけ、傷病者の症状程度を区分する。

- ※ 各消防本部の**集団救急災害活動要領等**に準じて実施する。
- 2次トリアージ実施者は、**標準予防策（スタンダードプレコーション）**にて活動
- 災害対応ピクトグラムなどの活用

救急活動

- 救急活動実施者は、標準予防策（スタンダードプレコーション）にて活動
 - ※ 二次汚染を考慮し、必要に応じてレベルC防護措置を講じる。
- 傷病者の汚染拡大防護措置（ガーゼ等で覆う、体全体をシート等で覆う等）
- 車両等の汚染拡大防護措置（車内の床、壁等をポリエチレンシート等で覆う等）
- 化学災害時：二次汚染防止のため、救急車内の換気を実施
- 生物災害時：生物剤の拡散防止のため、救急車内の換気扇、エアコン等を停止
- 救急隊員の必要に応じた受診
- 神経剤が疑われた場合の解毒剤自動注射器の使用の判断

最先着隊がレベルD活動隊であった場合の活動

- 部署位置：水利を確保できる場所で、周囲の状況を確認し危険がない場所を目標
- 周囲の状況を消防指令室に報告（倒れている者、異臭等）
- 原因物質の爆発や水除染活動等に備えたホースの延長
- 関係者（通報者）と接触し、情報収集（要救助者の状況、原因物質に関する情報等）
- 部隊規模や以後の活動を考慮した消防警戒区域の設定
- 周囲の状況等を確認し、危険がない場所に進入統制ラインを設定
 - ※ 設定時の判断基準
 - 発災からの時間経過
 - 設定時点の災害状況（発災場所、気象状況、臭気の有無）
 - 傷病者の人数や症状等
- 災害対応ピクトグラムなどの活用
- 有症者等に対する除染効果等の説明及び自力脱衣の協力依頼
- 広報・避難誘導を実施
 - ※ 情報収集及び消防指令室への連絡事項
 - 発災場所（住所、対象物名、地番等）の特定
 - 事案の種類（分かり得る範囲で、特殊災害、建物倒壊、火災の有無等）
 - 事案の状態（進行中か収束傾向か、一箇所か複数箇所か等）
 - 傷病者の人数や症状等
 - 現場指揮本部の設置状況
 - 区域設定状況
 - 進入経路、一次集結場所の指定等
 - 必要装備、資機材等（自隊の状況も含め）
 - 関係機関の活動状況、応援要請等

<一般住宅におけるゾーニング（例1）>

【想定】

防火造2/0の一般住宅において、誤って洗剤を混ぜてしまい、気分不良を訴え、119番通報。開口部は全て締め切られ、屋外において周囲の異変は感じられず、また異臭等もなし。

【消防隊による簡易検知活動の結果】

○屋外（敷地内）

- ・IMS検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし

○屋内（玄関）

- ・IMS検知器 → 産業毒性物質（TIC）検知
- ・マルチガス測定器 → 塩素0.5ppm検知

○屋内（リビング）

- ・IMS検知器 → 産業毒性物質（TIC）検知
- ・マルチガス測定器 → 塩素5ppm検知

【ゾーニングのポイント】

○進入統制ライン：発災建物周辺の屋外は、異変、異臭なし。また、各種検知器等についても反応なし（数値変化なし）。

→ 西側からの風のため、発災建物の西側（風上）に進入統制ラインを設定。

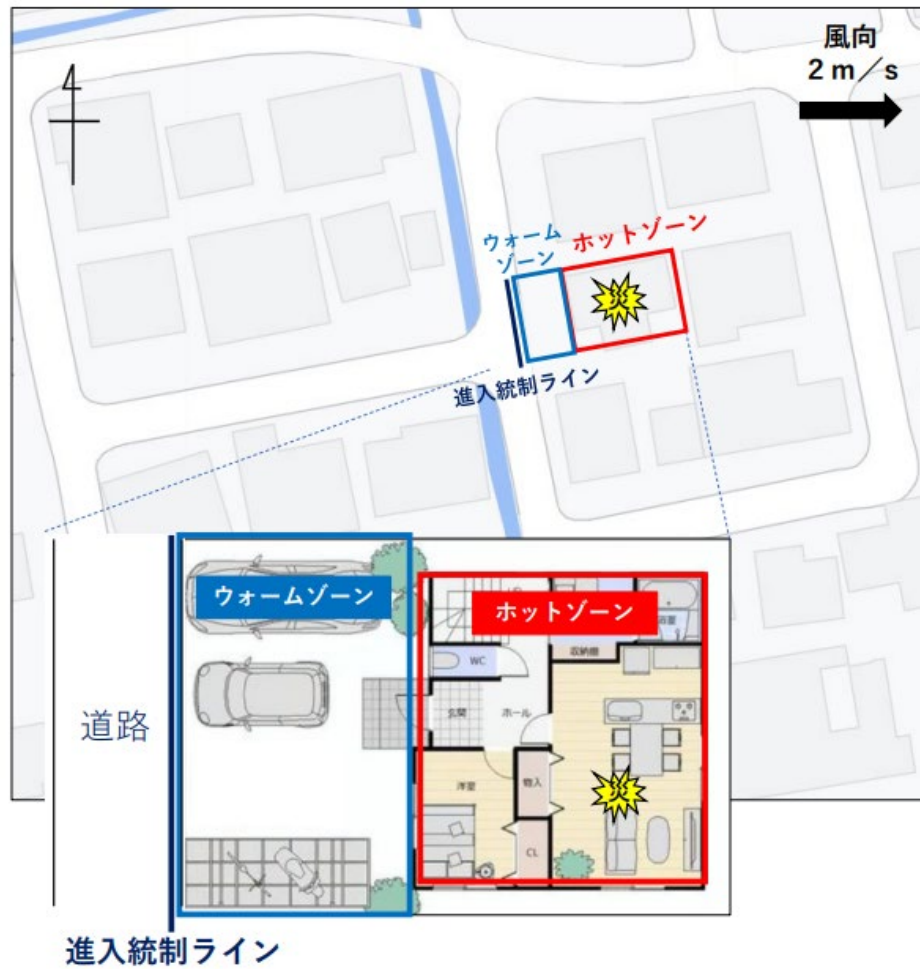
○ホットゾーン：建物内に進入後、玄関において塩素を検知し、リビングでは玄関より更に高濃度の塩素を検知。

→ 一部の区画のみに塩素を封じ込められているわけではなく、一般住宅の大きさ（延べ面積、間取り、階層など）程度であれば、建物全体にガスが充満している可能性もあるため、建物全体をホットゾーンに設定。

○ウォームゾーン：開口部が全て締切り状態で屋外への拡散、漏えいの危険性は低い。また、曝露者及び隊員の除染スペースを確保する必要がある。

→ 発災建物の敷地をウォームゾーンに設定する。

図5-1 一般住宅におけるゾーニングのイメージ図（例1）
【風上環境でのゾーニング】



※風向の変化や活動スペースの確保等から、発災建物の敷地のみをウォームゾーンとすることが不適切と判断された場合は、前方の道路等を含めた範囲にゾーニングを拡大することも考慮する。

<一般住宅におけるゾーニング(例2)>

【想定】

例1同様

【消防隊による簡易検知活動の結果】

例1同様

【例1と比較した場合のゾーニングのポイント】

- 風上からの進入ができないため、発災建物前方の道路上の風横に進入統制ラインを設定する。
- 進入統制ラインより危険側にウォームゾーン又はホットゾーンを設定する必要があるため、発災建物前方の道路もウォームゾーンに含める。

図5-2 一般住宅におけるゾーニングのイメージ図(例2)

【風下環境でのゾーニング】



<一般住宅におけるゾーニング(例3)>

【想定】

例1と同様

【消防隊による簡易検知活動の結果】

例1同様

【例1及び例2と比較した場合のゾーニングのポイント】

○例1と比較

風上からの進入ができないため、風横からの進入とするが、進入統制ラインを同じ場所に設定しているため、ゾーニングの範囲も同様となる。

○例2と比較

風横からの進入は同様であるが、進入統制ラインを発災建物前方の道路と敷地との境界に設定したため、発災建物前方の道路はウォームゾーンに含めず、発災建物の敷地のみをウォームゾーンを設定する。

図5-3 一般住宅におけるゾーニングのイメージ図(例3)

【風横環境でのゾーニング】



※風向の変化や活動スペースの確保等から、発災建物の敷地のみをウォームゾーンとすることが不適切と判断された場合は、前方の道路等を含めた範囲にゾーニングを拡大することも考慮する。

<共同住宅におけるゾーニング(例4)>

【想定】

耐火造 10/0 の共同住宅の 3 階の住戸で、浴室に「有毒ガス発生中」の張り紙があり、応答がないということで家族から 119 番通報。開口部は全て締め切られ、屋外において周囲の異変は感じられず、また異臭等もなし。

【消防隊による簡易検知活動の結果】

○屋外（敷地内）

- ・IMS 検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし

○屋内（1 回エントランス及び 3 階共用廊下）

- ・IMS 検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし

○屋内（リビング）

- ・IMS 検知器 → 産業毒性物質（TIC）検知
- ・マルチガス測定器 → 硫化水素 100ppm 以上を検知

【ゾーニングのポイント】

○進入統制ライン：発災建物周辺の屋外は、異変、異臭なし。また、屋外から 3 階の共用廊下にかけて、各種検知器等の反応なし（数値変化なし）。

→ 発災建物の 1 階正面玄関手前に進入統制ラインを設定する。

○ホットゾーン：発災した住戸の玄関では検知器等の反応はなく（数値変化なし）、浴室のみ硫化水素を検知。

→ 一部の区画（浴室）のみで硫化水素が充満しており、他室への漏えいはみられないが、浴室の出入り口を開放することで容易に室内に硫化水素が拡散する危険性があるため、発災した住戸全体をホットゾーンに設定する。

○ウォームゾーン：救出動線かつ発災した住戸と隣接しており、かつ曝露者及び隊員の除染スペースを確保する必要がある。

→ 3 階の共用廊下及び 1 階正面玄関付近までをウォームゾーンに設定する。

図5-4 共同住宅におけるゾーニングのイメージ図（例4）



※共同住宅の構造、付帯設備等によって、原因物質が拡散しているおそれがあると考えられる場合は、3階のフロア全体等をホットゾーンに設定することも考慮する。

<食品加工工場におけるゾーニング(例5)>

【想定】

鉄骨造1／0の食品加工工場において、配管から塩素ガスが噴出して、複数の従業員が気分不良等を訴えており、119番通報。屋外において周囲の異変は感じられず、また異臭等もなし。

【消防隊による簡易検知活動の結果】

○屋外（敷地内）

- ・IMS 検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし

○屋内（正面玄関～A作業室）

- ・IMS 検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし

○屋内（B作業室）

- ・IMS 検知器 → 産業毒性物質（TIC）検知
- ・マルチガス測定器 → 塩素 40ppm 検知
- ・ドレーゲル検知管 → 呈色反応あり

【ゾーニングのポイント】

○進入統制ライン：発災建物周辺の屋外は、異変、異臭なし。また、各種検知器等についても反応なし（数値変化なし）。

→ 工場内の状況が不明であるため、活動初期は工場の入口手前に進入統制ラインを設定する。

○ホットゾーン：正面玄関からA作業室まで検知器等の反応はなく（数値変化なし）、区画化されたB作業室のみ塩素を検知。

→ 一部の区画（B作業室）のみで塩素が充満しており、外部に漏えいしている危険性も少ないため、A作業室をホットゾーンに設定する。

○ウォームゾーン：塩素が充満しているB作業室と隣接しており、かつ曝露者及び隊員の除染スペースを確保する必要がある。

→ 発生原因が特定でき、かつ工場内全体に原因物質が充満しているわけではないため、二次汚染の危険性及び曝露者の除染活動を考慮して、B作業室に隣接するA作業室及び屋外の一部をウォームゾーンに設定する。

図5-5 食品加工工場におけるゾーニングのイメージ図（例5）



※発災室が区画化されている場合であっても、隊員の出入り等により原因物質が容易に隣室に流入、拡散する可能性があり、かつ要救助者の除染活動を踏まえて、隣室又は工場全体をホットゾーンとし、屋外の一部をウォームゾーンにすることも考慮する。

<鉄道駅におけるゾーニング(例6)>

【想定】

駅のホームで液体をかけられたものが数名発生し、119番通報。液体をかけられた者以外で症状を訴える者はいない。また、駅外において周囲の異変は感じられず、また異臭等もなし。

【消防隊による簡易検知活動の結果】

○駅の外（ロータリー）

- ・IMS 検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし

○駅内（改札口手前及びホーム）

- ・IMS 検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし

○駅内（残留液体）

- ・IMS 検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし
- ・化学剤同定装置 → 硫酸検出

【ゾーニングのポイント】

○進入統制ライン：駅外（ロータリー）は、異変、異臭なし。また、各種検知器等についても反応なし（数値変化なし）。

→ ホームでの事案発生が明確であり、液体をかけられたもの以外の者は症状を訴えていないため、改札口に進入統制ラインを設定する。

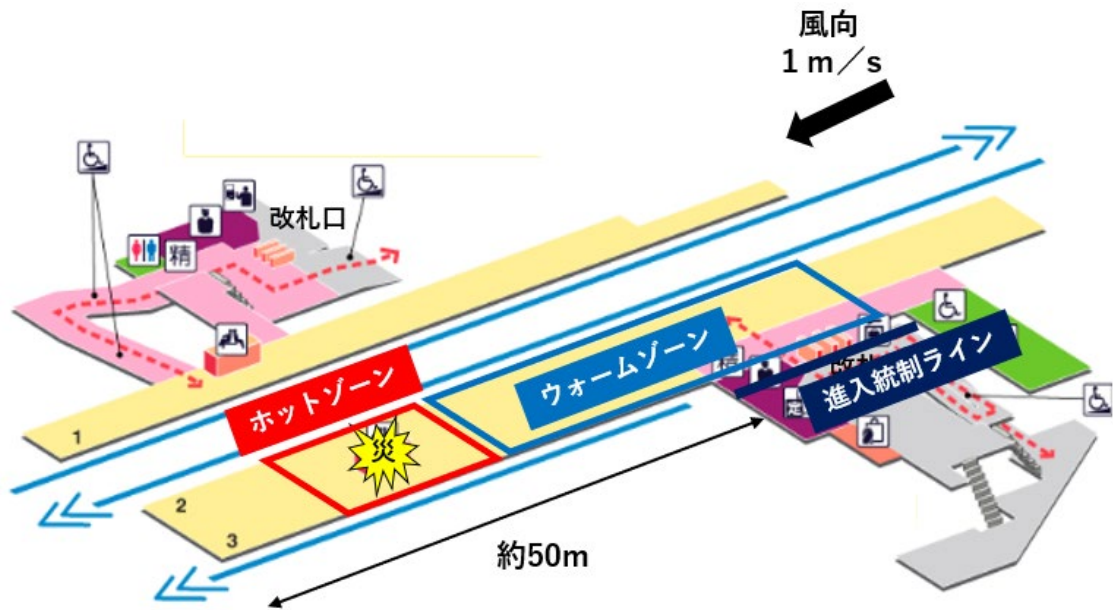
○ホットゾーン：曝露者（液体をかけられた者）以外は症状を訴えていない。また、屋外での発災であり、かつ原因物質の位置が特定できている。

→ 曝露者が限定的であり、拡散の可能性は低いと考えられるため、原因物質が存在する周辺のホームのみホットゾーンに設定する。

○ウォームゾーン：残留液体を直接検知した場合のみ各種検知器等に反応があり、かつ曝露者及び隊員の除染スペースを確保する必要がある。

→ 原因物質が存在する場所以外は曝露危険が低いいため、ホットゾーンから改札口にかけてウォームゾーンを設定する。

図5-6 鉄道駅におけるゾーニングのイメージ図(例6)



※利用者の人数や往来、曝露者の移動状況等によって、原因物質の周囲のみに限定することなく、ホットゾーンを拡大して設定することも考慮する。

また、電車の運行状況や汚染程度によって、駅の外で除染することも考慮する。

<競技場におけるゾーニング(例7)>

【想定】

競技場内で何者かが液体の入ったビニール袋（1袋）を破り、複数の観覧者が視覚障害、鼻汁、呼吸苦などを訴えている。グラウンド内の選手は避難が済んでおり、液体周辺にいる複数名が自力歩行できず、その他のものは自力又は介添えにより歩行可能。競技場外において周囲の異変は感じられず、また異臭等もなし。

【消防隊による簡易検知活動の結果】

○競技場外

- ・IMS 検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし

○競技場内（グラウンド、北側観覧席）

- ・IMS 検知器 → 反応なし
- ・マルチガス測定器 → 数値変化なし

○競技場内（液体付近の観覧席）

- ・IMS 検知器 → 神経剤
- ・化学剤同定装置：サリン検出
- ・ドレーゲル検知管：呈色反応あり

【ゾーニングのポイント】

○進入統制ライン：競技場外は、異変、異臭なし。また、各種検知器等についても反応なし（数値変化なし）。

→ 風上及び風横の入り口に進入統制ラインを設定する。

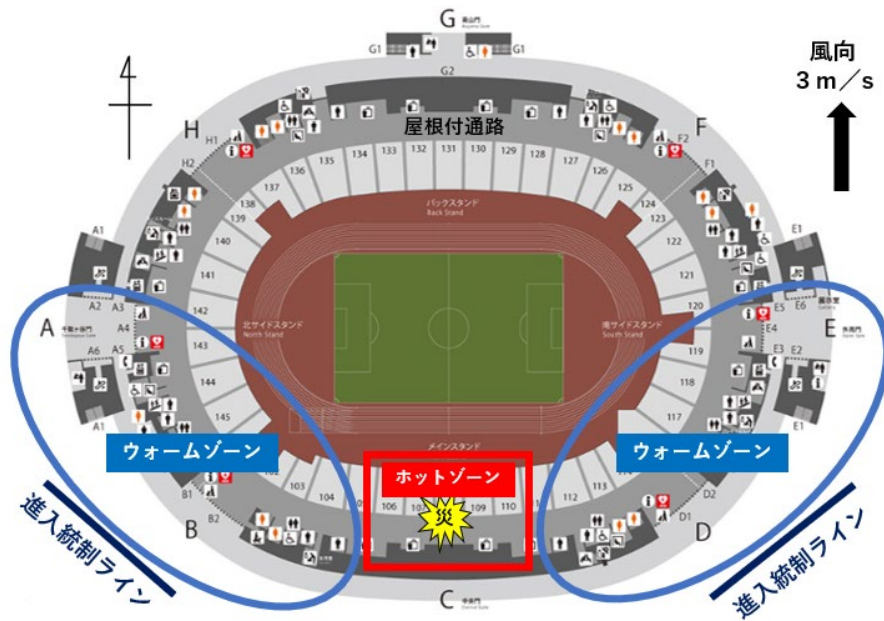
○ホットゾーン：液体付近の観覧席のみ検知器が反応を示し、また、屋外での発災であり、かつ原因物質の位置が特定できている。

→グラウンド内の選手は避難が済んでおり、観覧者の出入りはできないため、液体周辺の観覧席のみホットゾーンに設定する。

○ウォームゾーン：競技場内でも液体付近の観覧席のみ各種検知器等の反応があり、かつ曝露者及び隊員の除染スペースを確保する必要がある。

→ 活動の動線を考慮してホットゾーンの両側及び屋外までの動線をウォームゾーンに設定する。グラウンドが風下にあたり二次汚染の危険性があるが、選手の避難は済んでおり、かつ活動の動線とならないため、ゾーン対象外とする。

図5-7 競技場におけるゾーニングのイメージ図（例7）



※発災初期は、状況把握が困難であることが多いため、ホットゾーン及びウォームゾーンともに広めのゾーニングを意識し、状況が明らかになっていくに従い、ゾーンの縮小、変更も考慮する。

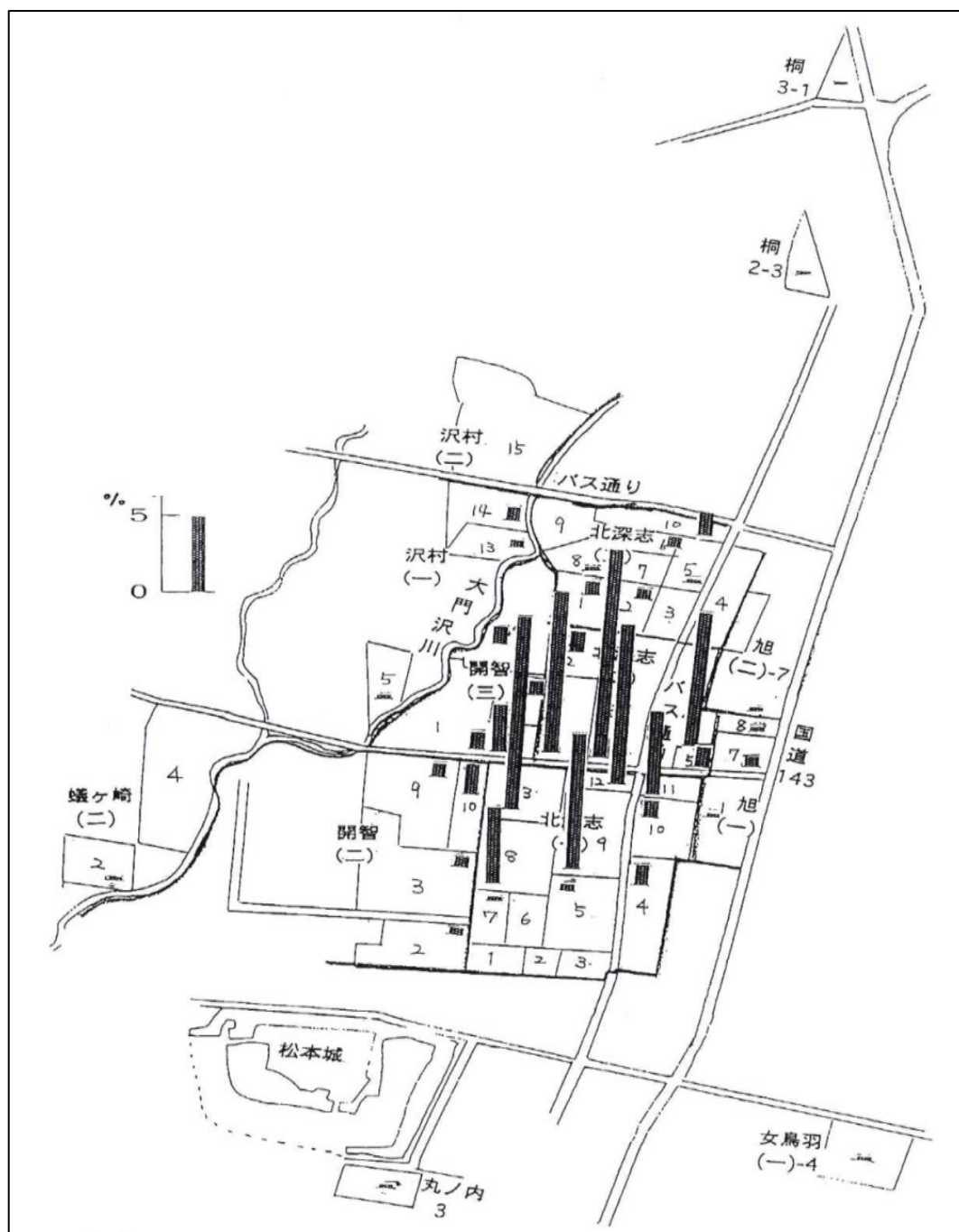
<発災初期のゾーニング>



(参考：松本サリン事件)








平成6年6月27日深夜、長野県松本市内の住宅地にサリンが散布され、死者7人、重軽傷者600人以上が発生した事件。この事件において、サリンの曝露により目の前が暗くなるなどの自覚症状を感じた者の分布は、時間とともに東西南北に広がっていき、ピークには南北に約800m、東西約570mの範囲に広がった。その地理的分布は以下の状況であった。

図6 自覚症状があった者の分布
(図中の数字は番地を、括弧内の数字は丁目を示す)



出所：松本市有毒ガス中毒調査報告書（平成7年3月松本市地域包括医療協議会）

化学剤検知等資機材の特性等一覧

検知等資機材 (例)	検知原理	検知対象	特 性		効果的な活用等	メンテナンス方法 (例)
			メリット	デメリット		
 LCD3.3/ChemPro100	IMS (イオンモビリティスペクトロメリー) 方式 イオンの大きさ (衝突断面積) による移動度の違いを利用して識別する。(大きいイオンは検知部に遅く到達し、小さいイオンは、より早く検知部に到達する。)	気体	検知感度が非常に高く (ppbレベル)、検知可能な化学剤が存在すれば、陽性アラートを発する。	<ul style="list-style-type: none"> 類似の移動度を持つ様々な化学物質に対して同じ検知結果を示すため、偽陽性 (誤検知) を起こしやすい。 VXやピチョクのような難揮発性化学剤は、常温ではほとんど気化しないため、検知することが非常に困難である。 分子が小さいシアン化水素などは、分子が小さいシアン化水素などは原理的に検知が難しく、誤検知が起こりやすい。 また、シーパックの劣化の影響を受けて検知感度が下がることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 症状を訴える者 (目の痛みや視覚異常、呼吸苦など) や周囲の状況から異常を感じるような場合で、有毒なガスが存在しているか否か不明な状況下などで活用する。ただし、発生源が特定できている場合であっても、有毒性の有無等を確認するために活用する。 原因となるガスを同定する検知器ではなく、あくまで有毒なガスが存在しているか否か (ガス種の識別のみ可) を判断するための検知資機材である。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な空回しを行い、流路の汚染を防ぐ。 電源をOFFにする際には必ず“サンプリング中”であることを確認する。 適切なタイミングでシーパックやフィルターなどの消耗品の交換を行う。 現在、主流のIMS検知器 (LCD3.3、RKOWletなど) は、運用時に湿度の影響を受けないようにするために、シーパック等の乾燥剤を搭載しているが、保管時も湿度によって乾燥剤が劣化していくので保管状態についても注意が必要である。 擬剤等により流路が汚染している場合は、ディーラーに焼き出しを依頼することで改善することもある。特に吸着性の高いマスタード (HD) が流路汚染の影響を受けやすい。
 HazMat ID Elite	赤外分光方式 試料に赤外光を照射し、反射した光を測定することで赤外吸収スペクトルを取得し、ライブラリと比較して物質を同定する。	固体、液体	<ul style="list-style-type: none"> 多くのライブラリを搭載しているため、様々な化学物質を同定することが可能である。 試料が少量 (mgレベル) であっても検知可能である。 検知精度が高い。 ラマンでは行えない水の特定が可能である。 耐振動・衝撃性能が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 水の含有量が多かったり、化学物質の濃度が低いと、目的とするピークが小さくなり、識別が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> 原因となる化学物質や不審物等を探取したのちに、分析を行う。 比較的小型で携行できるため、原因となる物質等が存在しているホットゾーン (危険区域) に当該資機材を持ち込んで、分析することも可能である。防水構造であるため、除染も容易である。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的なメンテナンスは必要ないが、5年程度を目安に赤外光源、レーザー、検出器の交換が必要となる。
 Gas ID	赤外分光方式 ガスセルを備えた赤外分光計が組み込まれており、気体試料に赤外光を照射して赤外吸収スペクトルを測定し、ライブラリと比較して物質を同定する。	気体	<ul style="list-style-type: none"> 多くのライブラリを搭載しているため、様々な化学物質を同定することが可能である。 ガスが微量 (ppmレベル) であっても検知可能である。 検知精度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 万一、試料が付着した場合の除染が困難であるため、ホットゾーンにおいてテドラパックで採取したガスをウォームゾーンに設置した本機で分析を行う必要がある。そのため、分析までに少々時間を要する。 複数種類の物質が混合している場合には、目的とする物質の検出が比較的難しい。 光路を安定させるため、振動等に比較的弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> IMS方式の検知器等により、有毒なガスの存在が疑われる場合に、その存在及び種類の同定等に活用する。ただし、IMS検知機より検出感度は劣る。 PID検出器は、ppmレベルで反応することから、PID検出器で反応している環境下でガスを採取して分析を行うと効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的なメンテナンスは必要ないが、5年程度を目安に赤外光源、レーザー、検出器の交換が必要となる。
 Pendar X10	ラマン分光方式 物質に光を照射した時に生じる「ラマン散乱」という現象を捉えて、化学物質を解析する。ラマン散乱は、物質に固有の波長を持っており、ライブラリ上の波長データと比較して、識別する。	固体、液体	<ul style="list-style-type: none"> 多くのライブラリを搭載しているため、様々な化学物質を同定することが可能である。 容器を開封することなく (ガラスやプラスチック容器越し)、30cm～最大2m離れた位置で短時間で検知可能である。 起爆剤 (黒色火薬) 等の不安定な物質、色の付いた物質も検知可能である。 VXやピチョクのような難揮発性化学剤も検知可能である。 検知精度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 液体状の化学物質が床上に薄く広がっている場合、検知困難である。(測定用のレーザーが床まで透過してしまうことが原因である。) 試料量が少ない場合や測定に時間を要する化学物質は、手ぶれを防ぐために三脚を使う必要がある。 水の特定ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 原因となる化学物質や不審物等を探取することなく (基本的に剤に触れる必要がない)、分析が可能である。 携行性に優れているため、原因となる物質等が存在するホットゾーン (危険区域) に当該資機材を持ち込んで、分析することも可能である。防水構造であるため、除染も容易である。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的なメンテナンスは必要ないが、5年程度を目安にレーザーの交換が必要となる。
 MX908	質量分析方式 物質をイオン化し、マススペクトルを測定してライブラリと比較して物質を同定する。	固体、液体、気体、エアロゾル	<ul style="list-style-type: none"> 爆発物を検知可能である。 試料が微量 (µgレベル、ppbレベル) であっても検知可能である。(拭き取りしたものを検知することも可能) 表面に付着した微量の難揮発性神経剤 (VXなど) の検知に有効である。 エアロゾルに対応したオプションも備えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 高濃度の試料を導入した場合、装置内に長時間残存し、次のサンプリングまでの復旧に時間を要する。 分離装置を有しないうえ、真空度が低いためマススペクトルの分解能が低く、可搬型ガスクロマトグラフ - 質量分析計 (HAPSITE、TORION T-9など) と比較すると定性能力は劣る。また、一般的なマススペクトルライブラリは使用できない。 	<ul style="list-style-type: none"> IMS方式の検知器等により、有毒なガス等の存在が疑われる場合に、その存在及び種類の同定等に活用する。 原因となる化学物質や不審物等が視認できない場合であっても、化学物質等が付着している場所を専用のスワブで拭き取ることで分析することが可能である。(拭き取ったスワブを機器の内部で加熱して、ガス化させて、分析する仕組み) 大気中に浮遊しているVXやピチョクのエアロゾルの検知が可能である。(大気中に浮遊しているエアロゾルを専用のフィルターに一定時間吸着させた後にフィルターを加熱して、吸着したエアロゾルをガス化させて、分析する仕組み) 	<ul style="list-style-type: none"> 感度が低下した場合は、イオン源などの洗浄や予備のイオン源の交換が必要となる。
 (リン酸エステル用) ドレーゲル検知管	定性方式 吸入した気体に酵素 (コリンエステラーゼ) の働きを阻害する作用があるかどうかを検出する。	気体	IMS検知機と同等以上の感度を有する。 比較的安価である。	<ul style="list-style-type: none"> 気体中に阻害物質が存在すれば、偽陽性になることがある。また、保管方法が不適切だったり、操作を誤ることで、偽陽性となる。 事前にブランク試験を行って、検知管が正常に反応する (陰性を示す) ことを確認する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 症状を訴える者 (目の痛みや視覚異常、呼吸苦など) や周囲の状況から異常を感じるような状況下で、化学物質が存在しているか否か不明な場合に活用する。ただし、発生源が特定できている場合であっても、有毒性の有無等を確認するために活用する。 クロスチェックのため、IMS検知機と組み合わせると効果的である。IMS検知機が神経剤を発報した場合において、陽性であることの追試はもちろんのこと、周囲の状況から偽陽性が疑われる場合の打ち消しにも利用可能である。ただし、双方ともに偽陽性を起こしやすいため、特性や操作法を十分に理解しておく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 高温での保管を避ける (エアコンが常時作動している事務室又は冷蔵庫での保管が望ましい)。高温での保管は、有効期限内でも使用不能となる場合がある (その場合、ブランク試験でも陽性を示す)。
 化学剤検知紙 (M8)	定性方式 液体に触れさせ、検知対象の化学剤が含まれていた場合は、化学剤の種類に応じて、紙片内の色素が溶解し、変色する。	液体	安価かつ容易に検知可能である。	<ul style="list-style-type: none"> そもそも原液の検知を目的としているため、感度が低く、希薄溶液の検知には適さない。 偽陽性が多い。 化学剤以外の多くの物質に反応するため、陽性を示した場合は、赤外分光光度計やラマン分光光度計による確認が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ホットゾーン (危険区域) に携行して、液体状の原因となる化学物質を探取することなく、検知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 温度が高く、風通しの悪い場所での保管を避ける。

※例示した検知資機材を推奨するものではなく、検知原理や特性等をより分かりやすいものとするために、各原理に応じた検知資機材を示している。
 ※検知原理が同じであっても、各検知資機材によって特性が異なるため、詳細はメーカーなどに問い合わせる必要がある。

図7 搬送の際の傷病者の保護（例）

1. 担架の上に防水シートを敷く。

写真は手術用ドレープ（2×3 m、表吸水・裏撥水加工）を使用。吸水加工面を上（患者に触れる側）に敷き、担架の輪郭がはっきり出るように整える。



2. 患者を担架に乗せる。



患者が担架内にきちんと納まっていることを確認する。

3. 患者からの飛沫の飛散を防止するためマスク又はタオルで顔面下半分を覆う。



患者に呼吸苦がある場合、顔面に皮疹がある場合はタオルを用いる。

4. 患者足下の余った部分を折り返す。



5. 左右から包むようにドレープを巻く。



必要に応じてガムテープなどで固定する。

6. 担架のベルトを固定する。



担架の持ち手が見えることを確認する。

（厚生労働省健康局結核感染症課「天然痘対応指針（第5版）」より抜粋）

図8 救急車の養生と収納手順 (例)



①救急車床面の養生

防振架台を中央付近までスライドさせてから、床面用ポリシートを敷き、粘着テープで患者室の側面下部に貼り付ける。

<ポイント>

- ・足で踏む等、テンションがかかることによる破損を防ぐため、床面用ポリシートは適度な余長を取る。
- ・エアコン噴出し口は確実に塞ぐこと。



②救急車内側面の養生

養生用マスキングテープを患者室の左側面後方から前面、前面から右側面後方へ順に貼り付ける。コーナー部分は剥れやすいため、慎重に貼り付けること。

<ポイント>

- ・エアコン噴出し口は確実に塞ぐこと。





③救急車内天井面の養生

患者室の左側面上方に貼り付けた、養生用マスキングテープのテープ部分に重ねるように、患者室の前面から養生用マスキングテープを貼り付ける。

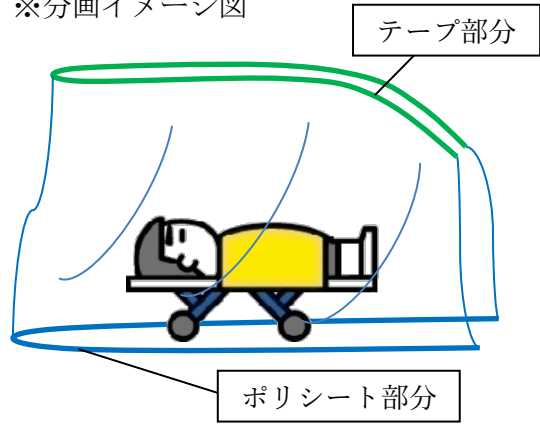
④傷病者収容部の分画

B災害の傷病者を搬送する場合、ストレッチャーを、養生用マスキングテープでカーテン状に囲い、分画する。

患者室の右側面上方に貼り付けた、養生用マスキングテープのテープ部分に重ねるように、養生用マスキングテープを車両後方から貼り付けていき、防振架台の頭部付近で折り返し、貼り始めの位置まで戻って貼り付ける。



※分画イメージ図



⑤救急車内側面の養生

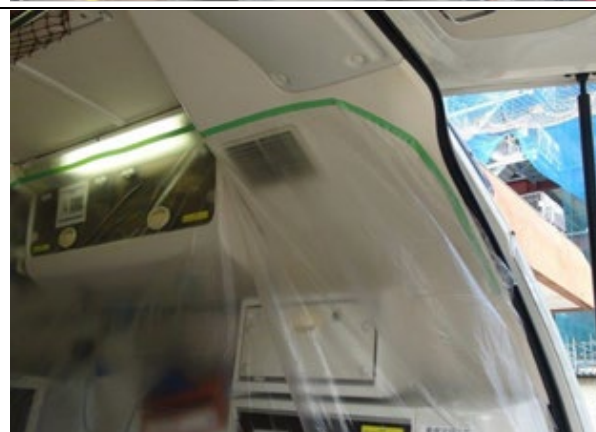
患者室の側面上方に貼り付けた養生用マスキングテープのポリシートを床面まで展開し、下部を粘着テープで貼りつける。





⑥救急車内天井面の養生

患者室の左側面上方に貼りつけた、養生用マスキングテープを展開して天井を覆い、前面、右側面、後方に粘着テープで固定する。



⑦換気扇付近の養生（B災害）

B災害は、搬送時に換気扇、エアコン等を停止し、車外に空気が漏れない処置をするため、養生用マスキングテープで換気扇を塞ぐこと。



⑧換気扇付近の養生（C災害）

C災害は、搬送時に換気を行いながら搬送するため、換気扇部分のポリシートをハサミ等で切り取り、粘着テープで固定すること。



⑨ 傷病者収容部の分画

B災害の場合は、傷病者を乗せたストレッチャーを車内収容後、傷病者分画用に設定した養生用マスキングテープのポリシートを展開し、カーテン状に囲うことによって、患者室で傷病者を分画する。

足側のポリシートが開かないように、束ねて粘着テープで閉じる。



⑩ 救急車後部の養生

養生用マスキングテープを、リアハッチ開口部の上半分に貼り付ける。

傷病者を乗せたストレッチャーを車内収容後、マスキングテープのポリシートを展開する。

<ポイント>

リアハッチのゴムパッキン部は剥がれやすいため、ボディの溝部分に貼りつけること。なお、ボディの溝部分は、汚れが溜まっていることが多いので、ガーゼ等で拭き取っておくこと。



⑪ 積載資器材の養生

資器材を覆っているポリシートに、ハサミ等で切り込みを入れて使用する。

展開したポリシートが破れないように、テープなどを利用して補強しておくことよい。(左の写真は切り込みの一例)





⑫携行可能な救急資器材の養生

AED、吸引器等の持ち運び可能な救急資器材は、ビニール袋等に入れて養生する。血圧計は、ビニール袋やアームカバー等の上に巻いて汚染を防ぐ。

⑬使用したマスキータープ等の廃棄方法

マスキータープ等の汚染面を内側に折り込み、汚染物等を拡散しないように処理する。

救急車内は、高い位置から処理し、最後に床面用ポリシートを処理する。

<ポイント>

- ・廃棄作業は、二次汚染防止のため、防護装備を着装した状態で実施し、ビニール袋に入れて密封廃棄すること。
- ・汚染物質が飛散しないよう、慎重に作業を実施すること。

(写真提供：名古屋市消防局)

図9 ヘリコプターの養生 (例)

1. 床面から養生を開始



2. 座席の養生



3. ストレッチャーの養生



4. 操縦席へ汚染拡大させないための養生



5. 使用資機材は、事前にカッター等で露出させておく



(写真提供：名古屋市消防局)

1 隊員レベル（個々の技能習得）

(1) 自給式空気呼吸器外装形気密服等の着装要領

<p>① 損傷防止のため、毛布等の上に防護服を用意する。</p> <div data-bbox="272 405 775 696" style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;"><p>写真 掲載予定</p></div>	<p>② 防護服開口部の遠い方の足から入れる。 (写真の場合、左足、右足の順番)</p>
<p>③ 防護服開口部の遠い方の腕から入れる。 (写真の場合、右腕、頭部、左腕の順番)</p>	<p>④ 腰ベルトを締める</p>
<p>⑤ ファスナーを閉鎖する。スライダーが外れる原因となるため、強引に閉鎖しない。</p>	<p>⑥ 終点は固く隙間が生じやすいため、完全閉鎖をする。</p>

<p>⑦ ファスナーの完全閉鎖を自身で最終確認する。</p>	<p>⑧ ファスナーカバーをかぶせる。</p>
<p>⑨ 防護服の損傷防止に気を付けながら、空気呼吸器を背負う。</p>	<p>⑩ 後頭部のマジックテープでフードを顔面に密着させる。</p>
<p>⑪ 面体を着装する</p>	<p>⑫ 面体の着装状態や地肌の露出が無いかなど、隊長又は隊員相互に確認する。</p>

(2) 自給式空気呼吸器内装形気密服（陽圧式防護服）の着装要領

<p>① 損傷防止のため、毛布等の上に防護服を用意する。</p> <div data-bbox="280 340 782 636" style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;"><p>写真 掲載予定</p></div>	<p>② 呼吸器を背負った状態から防護服の着装訓練を行う。</p>
<p>③ 防護服開口部の遠い方の足から入れる。 (写真の場合、左足、右足の順番)</p>	<p>④ 補助者は呼吸器のボンベに防護服をかける。</p>
<p>⑤ 面体を着装する。</p>	<p>⑥ 防護服開口部の遠い方の腕から入れる。 (写真の場合、左腕、頭部、右腕の順番)</p>
<p>⑦ 補助者は、ファスナーを閉鎖する。 スライダーが外れるため強引に閉鎖しない。</p>	<p>⑧ ファスナーが完全に閉鎖されたことを自身で確認する。</p>

(3) 4 ガス測定器の取扱い要領

<p>① 防水、防塵フィルタを付ける</p> <div data-bbox="284 304 785 595" style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;"><p>写真 掲載予定</p></div>	<p>② 電源ボタン長押し（1秒以上）</p>
<p>③ 新鮮な空気で校正を行う</p>	<p>④ 測定開始（酸素 21.0%を確認）</p>
<p>⑤ 対象ガスの性質に応じて、上部、下部、また、延長ホース等を用いた測定を行う。</p>	<p>⑥ 使用後は新鮮な空気を吸引させる。</p>
<p>⑦ 電源長押しで OFF</p>	

(4) 検知管式検知器の取扱い要領

<p>① 使用する検知管の両端をチップブレイカー、開封筒等を用いて開封する ※ガラスの破片による怪我、防護服の損傷に気を付ける。</p> <div data-bbox="268 439 769 730" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 20px;"><p>写真 掲載予定</p></div>	<p>② 差込方向の矢印に従い検知管をアキュロポンプに挿入する。 ※ポリテストは、どちら向きでも良い。</p>
<p>③ アキュロポンプでガスを既定回数吸引し、測定する。※ポンプを握る際は、正確に一定量を吸引するため、最後までしっかり握る。その後は、掌の力を緩めて、ポンプの復元力で自然に吸引するようにする。</p>	<p>④ 指示層の変色の有無、変色長を読み取り濃度等を評価する。 ※変色が微細な場合には、未使用検知管と見比べて、変色の有無を判定する。</p>
<p>⑤ 検知管を抜くため、検知管取付け口を指で押さえて、検知管をまっすぐに抜き取る。 ※抜き取った検知管は、怪我等防止のために両端をテープ等で覆うとともに、変色長を記録するためにペンで目盛りを塗ったり、カメラで撮ることが望ましい。</p>	<p>⑥ 内部に吸引したガスを排出するため、新鮮な空気で空吸引を数回行い、内部を洗浄する。</p>

※「リン酸エステル」検知管の取扱い

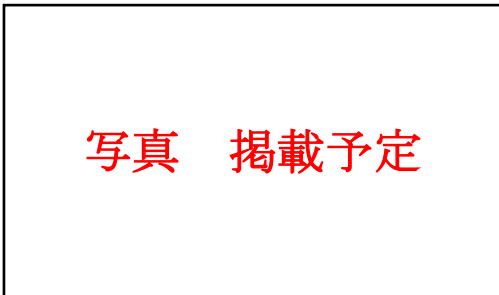
<p>(ア)測定手順①～③を実施の後に以下を実施 検知管に示されている2つの黒点に親指を当て押え、折り曲げて検知管の中にあるアンプルを割る。注意：ある程度強く曲げないと折れないが、強すぎると、検知管が壊れてしまうので慎重に行う必要がある。</p> <div data-bbox="288 555 769 748" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 10px;"><p>写真 掲載予定</p></div>	<p>(イ)検知管を軽く振る又は検知管を指で弾くなどして、アンプル内の試薬で酵素層を湿らすようにする。注意：基質層は湿らせないように注意する。基質層まで湿らせてしまうと、その時点で測定は失敗となる。 酵素層を湿らせた後、1分間放置する。注意：1分という時間管理を正確に行う。不正確だと測定結果も不正確となる。</p>
<p>(ウ)再度、検知管を取付け基質層(白色)まで吸引する。 注意：指示層まで湿らせないようにする。指示層(黄色)まで湿らせてしまうと、その時点で測定は失敗となる。そのためには、吸引する時にポンプを握り過ぎない、1度で基質層まで吸引しようと思わずに、数回に分けて、少しだけ握り軽く吸引するなどにより基質層を湿らせるようにするとよい。 基質層(白色)を湿らせた後、再度1分間放置する。 注意：1回目同様、1分という時間管理を正確に行う。不正確だと測定結果も不正確となる。三度吸引する。指示層(黄色)まで湿らせる。</p>	
<p>(エ)赤色への変色が1分間持続すればリン酸エステルが測定対象ガス中に存在する可能性がある。存在しない場合は、一旦は変色するが、その変色は持続(1分間)しない。 注意：変色の持続判定については、空測定を別に実施し、実測定と空測定の検知管を比較して判定するとよい。 測定手順⑤(検知後の処理)に移行する。</p>	

2 中・小隊レベル（部分的な訓練）

(1) 搬送要領（徒手搬送）

ア 二人つり上げ搬送救出

- ① 上肢を確保する際、防護服のリングが要救助者の脇や胸を圧迫し苦痛を与えないように十分気をつける。上肢を受傷していたり、腕時計等を装着している側はなるべく避ける。下肢は外側の足を上に交差させ確保する。



- ② 足部を確保した隊員は、片手で扉の開閉等を行う。

- ③ 階段等では、必要に応じて、手すり等を活用しながら安全に搬送する。

イ 両脇引っ張り救出

- ① 上肢の確保要領及び注意事項は二人つり上げ搬送と同じ。胸を張って高めに確保する
※確保が比較的容易であるため、消防力劣勢時のショートピックアップに有効

- ② 要救助者が重体重の場合などは、股の間に足を入れて送り足で搬送することも有効

(2) 搬送要領 (平担架搬送)

ア 3名での搬送要領

<p>① 頭部側に2名(1名は指揮者)、足部側に1名を配置し、互いの意思疎通を図って、担架を持ち上げる。</p> <div data-bbox="277 427 778 719" style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;"><p>写真 掲載予定</p></div>	<p>② 頭部側を先行させて搬送する。先行する隊員は、片手で扉の開閉等を行う。</p>
---	---

イ 2名での搬送要領

<p>① 担架を持ち上げる際は、隊員同士が互いに向き合って持ち上げた後に補助者の補助により、先行側の隊員が進行方向を向く。</p>	<p>② 補助者がいない場合、頭部側の隊員は、担架を前に押すようにして、持ち上げる。</p>
<p>③ 側部側を先行させて搬送する。頭部を先行させると空気呼吸器の保護枠が要救助者の頭部に接触する恐れがある。 ※呼吸器外装型防護服で、防毒マスク装着時には頭部を先行させることが可能</p>	<p>④ 階段等上がる場合は、努めて3名以上で搬送することとし、やむを得ず、2名で搬送する場合には、膝を折って頭部を若干下げることなど、空気呼吸器の保護枠が要救助者の頭部に接触しないように配慮する。 ※ 階段や坂道での搬送、立体的な移動などの際は、担架を水平に保つことに努める。</p>

(3) 搬送要領 (その他)

ア スケッド担架

<p>① 留め具を外して、担架を広げる。</p> <div data-bbox="277 371 778 667" style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;"><p>写真 掲載予定</p></div>	<p>② 要救助者を担架収容し、バンドを締める。 ※足裏は汚染されているため、担架を踏まないように気をつける。</p>
<p>③ 担架に収容後、要救助者をバンドで固定し、引きつって搬送する。1名でも搬送可能であるが、狭あい箇所等では複数名で旋回等しながら搬送する。</p>	<p>④ 階段を搬送する際、階段の上り始め等で頭部付近の担架が急に屈曲したり、階段途中で位置がずれることで、気道閉そくにならないよう十分に気をつける。</p>

イ サブストレッチャー

(※汚染される恐れがあるため、NBC 災害用に配備されたものがある場合に使用する。)

<p>① 救急活動時と同様に要救助者を収容して搬送する。 ※組み立て時等の防護服損傷に注意する。</p>	<p>② 階段等では複数名で搬送する。</p>
--	-------------------------

(4) ショートピックアップ要領

- ① 多数の要救助者が発生し、同時に救出できない場合には、要救助者全員の容態悪化の軽減を目的に原因物質が発生している場所から、原因物質のガス濃度が低い区画の異なる場所又は屋外へ救出（ショートピックアップ）を行う。

写真 掲載予定

- ② 両脇引っ張り救出等により、要救助者全員をガス濃度が低い場所へ一時的に救出（ショートピックアップ）する。

- ③ 二人吊り上げ搬送等により、除染所まで1名ずつ安全、確実に救出する。

3 大隊レベル（総合訓練）

(1) 現示要領の例

ア 4 ガス測定器等

写真 掲載予定	<table><tr><td>CH4</td><td>0%LEL</td></tr><tr><td>O2</td><td>20.9%</td></tr><tr><td>CO</td><td>0ppm</td></tr><tr><td>H2S</td><td>0.0ppm</td></tr></table>	CH4	0%LEL	O2	20.9%	CO	0ppm	H2S	0.0ppm
CH4	0%LEL								
O2	20.9%								
CO	0ppm								
H2S	0.0ppm								

現示カード作成例

- ・ 機器の状態を確認し、手動校正が終了し、測定が開始されていることを確認する。
手動校正中の場合は、校正終了まで結果の提示をせず、電源未投入の場合はガスの影響の無いところで機器の準備をやりなおさせる。
- ・ 測定者から測定開始の意思表示がされたら、カードの裏面「測定中」の現示を行い、機種及び吸引ホースの長さに応じた時間経過後にカード表面の測定値（上記「現示カード作成例」を参考）を提示する。
- ・ ガスの種類により蒸気比重が違うことから、想定したガスにより測定結果が出る場所を低所、居室内上部等蒸気比重に応じた場所に限定するとさらに実戦的になる。

イ 検知管式検知器

- ・ 検知管の種類を確認し、想定しているガスに適合するか確認する。適合していない場合は、検知管が不適であることを伝え、検知管の選択からやり直させる。
- ・ 実際に検知管を開封して使用する場合は、期限切れの検知管を優先して使用し、検知管の開封状況を確認し、開封されていない場合は機器の準備をやり直させる。
- ・ 検知管の差し込み方向を確認し、向きが合っていることを確認する。向きが合っていない場合は、機器の準備をやり直させる。
- ・ 活動隊から測定開始の意思表示がされポンプの吸引を開始したら、カードの裏面（測定中）の提示を行い、測定場所に設定した吸引回数（現示カードに記載の回数）を吸引したところでカード表面の測定値（上記「現示カード作成例」を参考）を提示する。

(2) 訓練想定

ア 想定1

プール施設で塩素ガスが発生し、内部に逃げ遅れあり	
災害概要	<ul style="list-style-type: none">・スポーツクラブの地下1階プールのある区画（以下「プール室」という。）で、プールサイドにいた従業員が強い刺激臭を感じたため、119番通報・プール室の隣にある機械室で、作業員が消毒剤（次亜塩素酸ナトリウム）のタンクに誤って清澄剤（ポリ塩化アルミニウム）を入れたため塩素ガスが発生・作業員はガスを吸引し、逃げきれず機械室内で倒れた
通報概要	スポーツクラブ〇〇、地下1階プールで刺激臭、逃げ遅れあり
現着時の状況	<p>【周囲の状況】</p> <ul style="list-style-type: none">・1、2階の施設は営業中・1、2階から地下1階プール室内に至るまでの経路に刺激臭はない・従業員（通報者）がプール室から客を避難誘導中・プール室の従業員と客は全員水着を着用している・機械室はプール室の奥にあり、機械室の扉から3m付近で刺激臭がある <p>【従業員（通報者）の情報】</p> <ul style="list-style-type: none">・機械室の扉の近くで刺激臭があり咳が出た。肌に痛みがある・作業員が消毒液の補充作業のため機械室に入ったが、出てこない <p>※下線部分 は訓練時間や訓練場所の大きさに応じて適宜変更してください</p>
現示図	
現示要領	<ol style="list-style-type: none">(1)館内の空調は作動している（機械室に毒劇物回収用の空調はない）(2)開口部の開閉によるガス濃度の変化はない(3)作業員は薬品の付着はないが、顔や手など露出部分が赤く薬傷している(4)薬品を混合したタンク内の反応は止まっている

活動のポイント	<p>【関係者対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除染については通報者の主訴や状況を確認し適切に判断 <p>※水着を脱がせる必要はあるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発災階以外の施設における避難誘導の指示 <p>【進入統制】</p> <p>災害状況を踏まえて進入統制ラインを設定</p> <p>【隊員の進入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指揮者、救助員など、迅速な救出に必要な人員の早期進入 ・ 酸欠空気危険性ガス測定器により可燃性ガス濃度を測定し、毒劇物防護衣では防げない爆発・火災危険を確認しながら速やかに進入 <p>【除染】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水に濡れない場所での乾的除染 <ul style="list-style-type: none"> …衣服に吸着した塩素（塩化水素）が地肌に浸みることによる症状悪化の防止 ・ 施設の温水シャワーの活用を考慮 <p>【測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塩素ガスの吸引により4ガス測定器の一酸化炭素の数値が上昇する可能性があることにも留意 ・ 蒸気比重に応じてガスが上方か下方に滞留することを考慮し測定 <ul style="list-style-type: none"> …塩素ガスは下方に滞留する傾向がある。 ・ 空気中の水分と反応し、塩化水素水（蒸気）や塩化水素ガスも発生することから、塩化水素検知管があれば活用も考慮 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二次的災害の発生防止に配慮した避難誘導
付加想定等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規模を縮小する場合は、プール施設のみの想定とする ・ 規模を拡大する場合は、塩素ガスが空調を経由して管内に拡大し、複数の傷者が発生するなど

イ 想定2

冷凍倉庫でアンモニアガスが漏えいし、内部に逃げ遅れあり	
災害概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷凍倉庫内にて、冷媒のアンモニアガスが配管から漏えい ・ 冷凍倉庫内部に設置されたマイナス40℃の冷凍室内に作業員が取り残された ・ 逃げ遅れの作業員は冷凍室内から携帯電話で社長に助けを求めた ・ 社長は作業員を助けるために倉庫の扉を開けたが、強烈な刺激臭と目の痛みを感じたため扉を閉鎖し119番通報
通報概要	冷凍倉庫でアンモニアガスの漏えい、内部に逃げ遅れあり
現着時の状況	<p>【周囲の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者（社長）が倉庫の前で手を振っている ・ 建物から5mの位置でアンモニア臭あり <p>【社長の情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業員とは携帯電話で会話できる、早く助けて ・ 冷媒はアンモニア。アンモニア以外の毒劇物、危険物はない ・ 首筋がヒリヒリと痛い（社長に近づくと衣服からアンモニアの臭気） <p>【作業員の情報（携帯電話）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷凍室から出ようと扉を開けたところ、強烈な臭いのため出られなくなった。 ・ 冷凍室の中は寒い。少し臭い ・ 倉庫入口と冷凍室の扉は施錠していない <p>※下線部分は訓練時間や訓練場所の大きさに応じて適宜変更してください</p>
現示図	
現示要領	<p>(1)倉庫入口の開放により臭気が10mまで拡大</p> <p>(2)開口部への噴霧注水により屋外の臭気なし</p> <p>(3)倉庫内への噴霧注水、1口2分、2口1分 で許容濃度未満に低下</p> <p>※下線部分は訓練時間や訓練場所の大きさに応じて適宜変更してください</p>

現示要領	<p>(1)ピット入口まで臭気はなく、測定器の数値変化なし</p> <p>(2)ピット内の発動発電機は停止している</p> <p>(3)送風機や空気ポンペを活用した 30秒間の強制換気により、ピット内の測定値は、「酸素 20.0%、可燃性ガス 0%LEL、一酸化炭素 50ppm」となる</p> <p>(4) (3)を実施中及び実施後、周辺の測定値や臭気に変化なし</p> <p>(5)強制換気を実施しない場合、測定値の変化なし</p> <p>※下線部分は訓練時間や訓練場所の大きさに応じて適宜変更してください また、空気ポンペを活用する場合、残圧が0にならないよう注意</p>
活動のポイント	<p>【関係者対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社長の主訴や消防隊到着前の行動を確認し適切に判断除染を実施する際は、除染の必要性や方法を説明するとともに、手洗い、うがい、洗顔などを実施させることも考慮 <p>【進入統制】</p> <p>臭気のある場所と除染に必要なスペースを考慮</p> <p>【隊員の進入】</p> <p>指揮者、筒先員、救助員など、迅速な救出に必要な人員の指定と早期進入</p> <p>【救助】</p> <p>要救助者を高濃度のアンモニアガスに曝露させない救出を考慮</p> <p>【例】</p> <p>噴霧注水によるガス排除（アンモニアは水によく溶ける）</p> <p>【除染】</p> <p>関係者に対する除染と同じ</p> <p>※高濃度ガスに曝露した場合は、必要な除染を実施</p> <p>【測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常のC災害の初動時は4ガス測定器により可燃性ガス濃度を測定し、防護服では防げない爆発・火災危険を確認しながら進入するが、本想定では、ガス濃度の評価後に救出することも考慮し、ドレーゲル式ガス検知器（アンモニア検知管）の活用にも配慮する アンモニアガスの吸引により4ガス測定器の一酸化炭素の数値が上昇する可能性があることに留意 蒸気比重に応じてガスが上方か下方に滞留することを考慮し測定 …アンモニアガスは上方に滞留する傾向がある。ただし、空気中の水蒸気に溶解することから、湿度に応じて下方の濃度が高くなったり、内壁に吸着したりすることも考えられる。 <p>【その他】</p> <p>被害の拡大防止を考慮付加</p>
付加想定等	<ul style="list-style-type: none"> 風位、風速については訓練場の状況により示す ガス噴出が継続しており、噴霧注水による効果が少ない場合

ウ 想定3

閉鎖空間での機器使用による一酸化炭素中毒	
災害概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町工場（化学系の工場）の地下ピットを改修作業中の作業員2名が倒れた ・作業員は発動発電器に電動工具を接続しピット内の剥離作業を実施していた ・現場監督が作業員に呼びかけたが返答がなかったのでピット内を覗いたところ、倒れている作業員を発見し119番通報
通報概要	救助活動、地下ピットの改修工事中、作業員が倒れ脱出不能」
現着時の状況	<p>【周囲の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通報者が気分悪そうに駆け寄ってくる ・町工場の職員は事故のことを知らずに作業を継続中 ・周辺は住宅街 <p>【通報者の情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業員が2人中で倒れている、早く助けて ・ピット入口で排気ガスの臭いがあった。頭痛があり気分が悪い ・廃液を溜めるピットだが、作業前に廃液は全て抜き取り、内部も洗浄した。ピット内は若干薬品臭かったが、洗浄作業時に体調が悪くなる者はいなかった <p>【工場の責任者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場に体調の悪い職員は発生していない
現示図	<p>排気ガスの臭気 酸素 : 20.9% 可燃性ガス : 0%LEL 一酸化炭素 : 50ppm</p> <p>酸素 : 19.0% 可燃性ガス : 0%LEL 一酸化炭素 : over</p> <p>掲載イメージ</p>

活動のポイント	<p>【関係者対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主訴や現着前の行動等を聴取し、除染の必要性について適切に判断 ・要救助者の救出に必要な情報（作業員数、ピット内の構造など）の聴取 ・一酸化炭素のみと断定せず、作業に使用した他の薬品等についても聴取し確認 <p>【隊員の進入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助に必要な人員の早期進入 ・4ガス測定器により可燃性ガスを検知しながら速やかに進入 <p>※一酸化炭素や硫化水素が原因であると限定せず、有機溶媒や残留した薬品が原因となる可能性も考慮</p> <p>【進入統制】</p> <p>災害状況を踏まえて進入統制ラインを設定</p> <p>【測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進入時、酸欠空気危険性ガス測定器により可燃性ガスの濃度を測定 ・可燃性ガス以外のガスを検出した場合も報告（原因ガス特定の判断要素になる） ・ピット内進入時など、環境が大きく変化する箇所での測定 <ul style="list-style-type: none"> …開放空間をじっくり測定しながら建物に近づくようなことはしない ・蒸気比重に応じてガスが上方か下方に滞留することを考慮し測定 <ul style="list-style-type: none"> …一酸化炭素は空気比重と同じくらい、硫化水素や有機溶媒は下方に滞留する傾向がある <p>【救助】</p> <p>救出に時間を要する場合、又は可燃性ガスの危険から救助員の安全を確保するために必要な場合は、強制換気の並行実施も判断</p> <p>【除染】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命に配慮し、汚染状況に応じた速やかな除染 ・一酸化炭素のみが原因であると断定できた場合、除染の必要はないが、目視による汚染確認は実施 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピット入口の測定や強制換気など、縦穴近くでの活動実施時には必ず空気呼吸器を着装 ・工場の作業員の避難誘導 ・一酸化炭素のみが原因であると断定した後は、空気呼吸器のみの装備で対応可能
付加想定等	<ul style="list-style-type: none"> ・風位、風速については訓練場の状況により示す ・町工場（化学系の工場）はめっき工場、香料工場、プラスチック工場等

参考資料

事例別時系列整理による対応要領

(注) 本資料は、過去の国民保護共同実働訓練の詳細シナリオや評価委員による評価結果等を基に整理し、NBC等テロ災害現場における各部隊の活動を俯瞰的に示したモデルケースである。なお、本資料における時間経過の想定は、国民保護共同実働訓練時の訓練想定に準じた時間経過で記載している。本資料を、各消防本部の規模や体制等、及び、災害現場の規模等に合わせて、柔軟に応用し、〇〇消防本部独自のモデルケースの作成に繋げることを目的とする。また、セクション毎に切り取って使用することで、各部隊の活動のチェックリストとしての役割を担うことも考慮している。

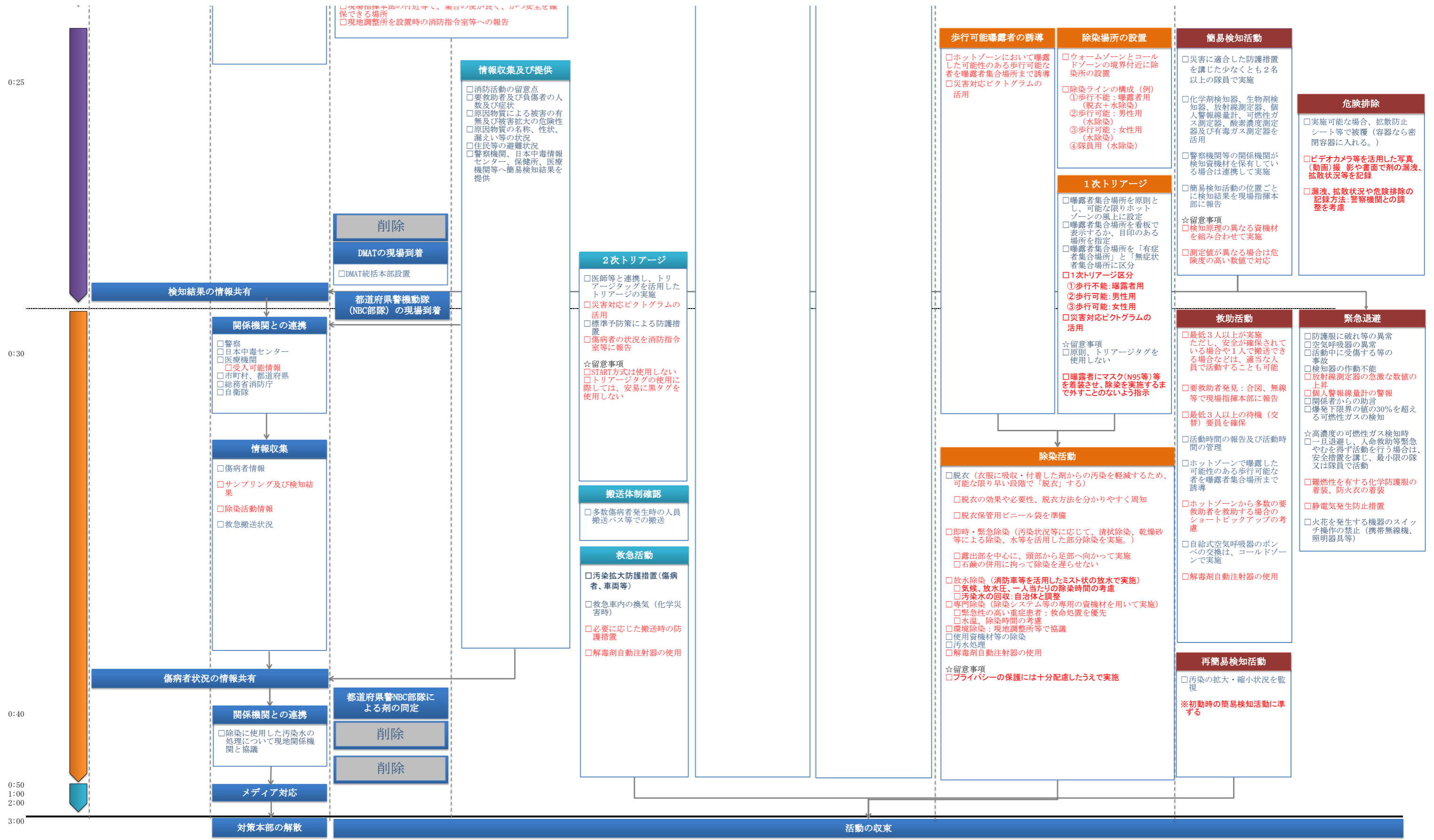
※本対応要領におけるコールド、ウォーム、ホットの区分は、NBC災害との複合災害を否定出来ない段階での、NBC災害に対する区分である。

※なお、本資料中「放射性物質（ダーティボム）テロ災害」及び「爆弾テロ災害」の青字で表記している箇所については全事例に共通した箇所であり、赤字で表記している箇所については当該事例特有の箇所として表記している。

<想定>

- ドローンから液体のようなものが散布され、多数の方（死傷者約30人）が目の痛み、呼吸苦等を訴えている。主要空港構内で化学剤（サリン）散布事案が発生。直後から多数の人が倒れる（死傷者約160人）。旅行者等非負傷者のうち避難を要する者は約4,000人の見込み。
- 公園を利用していた市民から119通報あり。「ドローンが飛行してきた直後に液体が撒かれ、多数の負傷者が発生しています。」との通報内容。また、複数事案の報告はなし。空港署から直接受信（ホットライン）。NBC災害の懸念あり（「液体が撒き散らされ多数の負傷者が発生している模様」）の報。
- NBC災害専門部隊をはじめとするレベルA～D活動隊の全体へ出動指令下命。最先着隊はレベルD活動隊を想定。

時間経過	通信指令部署 (消防指令室)	消防対策本部	想定される関係機関 の動き	出動消防部隊					
				コールドゾーン（レベルD活動隊をイメージ）			ウォームゾーン（レベルB活動隊をイメージ）	ホットゾーン（レベルA活動隊をイメージ）	
				指揮隊	救急隊	消防隊	消防隊	救助隊	
0:00 災害発生	<p>覚知・出動指令</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生場所 倒れている人及び気分不良を訴えている人の人数及び症状（※1） 不審なビニール袋、容器、散布器具等の残留物の有無 被害の範囲 住民の避難状況 事故の推移、時間経過 その他通報場所周囲の異常な状況 消防隊との接触 原因物質等からの離隔（安全な場所への避難） 身体露出部の防護 			<p>出動前</p> <ul style="list-style-type: none"> 指令内容、災害状況等 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両部署位置等 出動経路 	<p>出動前</p> <ul style="list-style-type: none"> 水利を確保できる場所で、周囲の状況を確認し危険がない場所に車両を部署目標に設定 テロ疑い時の一次集結場 	<p>出動前</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両等の汚染拡大防護措置（救急車内の床、壁等のポリエチレン等による養生） 	<p>出動前</p> <ul style="list-style-type: none"> 水利の確認 	<p>出動前</p> <ul style="list-style-type: none"> 隊員の防護措置 対応資機材の追加積載（空気ボンベ、化学防護服、除染資機材等） 	
0:05	<p>出動部隊の確保及び出動指令</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な消防部隊の検討 出動計画に準じた出動指令 必要な消防部隊を確保するための方策（消防相互応援や緊急消防援助隊の） 	<p>消防対策本部の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信指令部署との情報共有 <p>関係機関との調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 所轄の警察機関 二次攻撃の可能性 危険物質に関する情報 容疑者に関する情報 日本中毒情報センター 都道府県及び市町村（防災主管部局、衛生主管部局など） 医療機関（DMAT含む） 総務省消防庁 自衛隊 	<p>都道府県、市町村の初動体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部の設置 消防相互応援の考慮 緊急消防援助隊の考慮 	<p>削除</p>	<p>出動途中</p> <ul style="list-style-type: none"> 周囲の異常の確認（倒れている者、異臭等） 車両部署位置に関する通報場所、風向等の変更情報の確認 	<p>出動途中</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者（通報者）の現在位置、現場の状況、発生経緯等 関係者（通報者）の現在位置、現場の状況等の情報共有 部署目標の指定、周知 一次集結場所の考慮 有線、無線を活用し、消防対策本部と情報共有 	<p>出動途中</p> <ul style="list-style-type: none"> 検知資機材の起動及び校正 	<p>出動途中</p> <ul style="list-style-type: none"> 隊員の防護措置 対応資機材の追加積載（空気ボンベ、化学防護服、除染資機材等） 	
0:10	<p>災害状況の情報共有</p>			<p>現場到着</p> <ul style="list-style-type: none"> 発災場所付近に到着後は、車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切替え 車両の部署位置は、水利を確保できる場所で、周囲の状況を確認し危険がない場所 周囲の状況の報告（倒れている者、異臭等） 関係者（通報者）との早期接触及び情報収集 風上（吹流し、風向風速計等の活用） 原因物質の爆発や除染活動等に備えた水利確保及びホース延長 					
0:15	<p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生場所の特定 消防警戒区域 救助活動に係る情報 避難誘導に係る情報 原因物質の情報 複合的なテロ発生に係る情報 二次災害発生危険の有無 応援部隊等の要否 <p>☆注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況により有線、無線を活用し、現場指揮本部と情報共有 		<p>削除</p>	<p>現場指揮本部の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 進入統制ラインより安全側で指揮活動に支障がなく、かつ部隊が参集しやすい場所に設置 現場指揮本部設置の周知 	<p>消防警戒区域の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 部隊規模や以後の活動（区域設定、除染所、救護所の設置、救急車の運用等）を考慮し必要となる距離・スペースを確保 外周を標識等により明示 風上・風下の確認（吹流し、風向風速計等の活用） 症状のない通行人、住民の誘導及び進入規制を警察機関に依頼 消防警戒区域の範囲の広報 区域内からの退避及び区域内への出入りの禁止又は制限 	<p>広報・避難誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> 他機関と連携し、広報車や拡声器等を使用し、避難場所への誘導及びコールドゾーン（消防警戒区域）からの退去を指示 要援護者施設（病院、老人ホーム、保育園等）を重点的に実施 災害対応ピクトグラムの活用 曝露した疑いのある者に対し、口、鼻等をタオルやハンカチ等で覆うように指示 1次トリアージを受けずに、ホットゾーンからコールドゾーンに避難してきた者は、除染所に誘導 	<p>2次トリアージポスト及び救護所の設置等</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次トリアージポストの設置 救護所の設置 救急指揮所の設置 汚染拡大防護措置（傷病者、車両等） 	<p>消火活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ホースの延長 援護注水態勢の確保 	<p>現場到着</p> <ul style="list-style-type: none"> 発災場所付近に到着後は、車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切替え 先着隊より災害状況等を聴取 防護衣の完全着装 先着隊への助言 各ゾーンにおける活動内容の調整 ゾーニング 検知、除染等の各活動に関する専門知識・技術
0:20	<p>メディア対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応者の指定 個人情報・プライバシーの保護の徹底 警察機関の捜査への配慮 報道発表時間、場所等を決め、複数回実施するよう努める <p>☆注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 隊員個人による対応は行わない 		<p>所轄警察官による二次攻撃、二次災害の検索</p>	<p>現地調整所の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場指揮本部の付近等で、集合の便が良く、かつ安全を確保 					

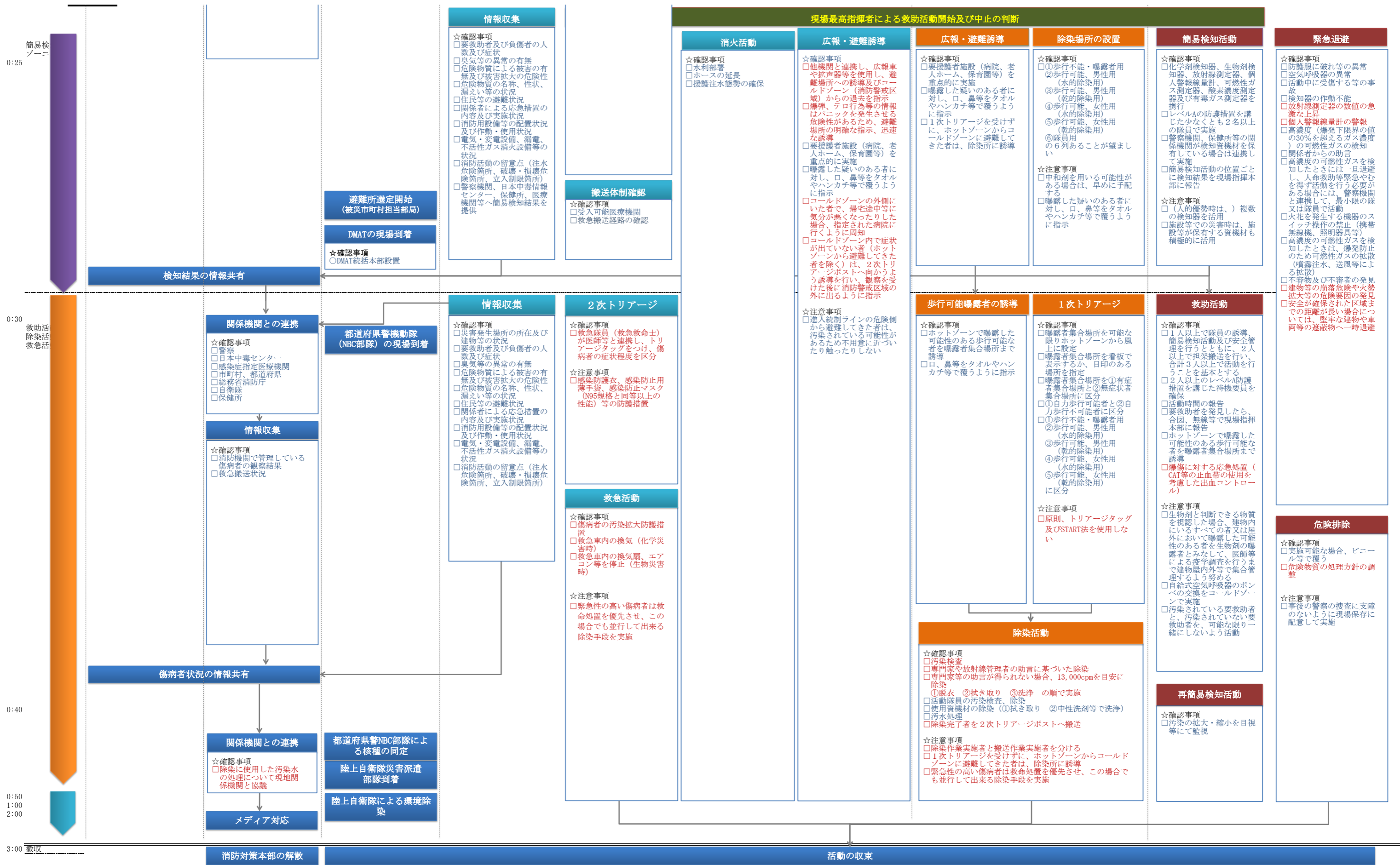


※各活動時における留意事項
 ・現場最高指揮者は警察機関等からの情報をもとに活動中止について判断する。
 ・また、現地調整所においても、各関係機関と情報を共有し、活動の中止について協議する。
 ・帰署後、身体に何らかの異常がある活動隊員は、病院受診する。

※情報共有に関する留意事項
 ・現地調整所において、各現地関係機関は現地調整所を構成する他の機関に対して、適時適切に情報提供する。
 ・特に、住民及び現地関係機関の職員生命又は身体安全確保に関する情報は、努めて迅速に共有する。
 ・現地調整所を通じて入手した最新の情報を現場指揮本部に速やかに伝達するとともに、必要に応じその保全に努める。

<想定>
 ○海外にて、セシウム137を核種とするRテロ（ダーティボム）事案が発生し、後日、某研究機関よりセシウム137が盗難される事案が発生。
 ○政府を中心に、全国の自治体や消防機関、警察等の関係機関において、警戒強化される。
 ○某市でのイベント開催中に、同会場にて爆発が起き、多数の負傷者が発生した模様との119番、110番通報多数。

時間経過	通信指令部署 (消防指令室)	消防対策本部	想定される関係機関 の動き	出動消防部隊					
				コールド（レベルC・D活動隊をイメージ）			ウォーム（レベルB活動隊をイメージ）		ホット（レベルA活動隊をイメージ）
				指揮隊	救急隊	消防隊	消防隊		救助隊
0:00 災害発	覚知・出動指令 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 発生場所の詳細 <input type="checkbox"/> 倒れている人及び気分不良を訴えている人の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 爆発被害の範囲（同時又は連続して爆発が発生した等） <input type="checkbox"/> 被害の範囲 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 事故経過 <input type="checkbox"/> 自爆行為者の目撃者又は目撃証言の有無 <input type="checkbox"/> 消防隊との接触の指示 <input type="checkbox"/> 不審者、不審物の有無			出動前 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指令内容、災害状況等 <input type="checkbox"/> 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両部署位置等 <input type="checkbox"/> 出動経路 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 周囲の状況を確認し危険がない場所（指令場所又は原因物質が存在する可能性がある場所（建物）から目安として120m以上離れた風上側の場所を参考）を部署目標に設定	出動前 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指令内容、災害状況等 <input type="checkbox"/> 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両部署位置等 <input type="checkbox"/> 出動経路 <input type="checkbox"/> 隊員の防護措置 <input type="checkbox"/> 隊員の防護措置 <input type="checkbox"/> 車内等の汚染拡大防護措置（救急車内のポリエチレン等による養生）	出動前 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指令内容、災害状況等 <input type="checkbox"/> 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両部署位置等 <input type="checkbox"/> 出動経路 <input type="checkbox"/> 隊員の防護措置 <input type="checkbox"/> 隊員の防護措置 <input type="checkbox"/> 水利用	出動前 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指令内容、災害状況等 <input type="checkbox"/> 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両部署位置等 <input type="checkbox"/> 出動経路 <input type="checkbox"/> 隊員の防護措置 <input type="checkbox"/> 隊員の防護措置 <input type="checkbox"/> 対応資機材の追加積載（空気ボンベ、化学防護服、個人警報線量計、除染資機材等） <input type="checkbox"/> 検知資機材の起動	出動前 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指令内容、災害状況等 <input type="checkbox"/> 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両部署位置等 <input type="checkbox"/> 出動経路 <input type="checkbox"/> 隊員の防護措置 <input type="checkbox"/> 対応資機材の追加積載（空気ボンベ、化学防護服、個人警報線量計、除染資機材等） <input type="checkbox"/> 検知資機材の起動	
0:05	出動部隊の確保 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 必要な消防部隊の検討 <input type="checkbox"/> 必要な消防部隊を確保するための方策（消防相互応援協定、緊急消防援助隊）	消防対策本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 通信指令部署との情報 関係機関との調整 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 所轄の警察機関 <input type="checkbox"/> 二次攻撃の可能性 <input type="checkbox"/> 容疑者に関する情報 <input type="checkbox"/> 危険物質に関する情報 <input type="checkbox"/> 複合的なテロ発生に否に関する情報 <input type="checkbox"/> 警察機関の集結場所 <input type="checkbox"/> DMAT、医療機関 <input type="checkbox"/> 衛生主管部署（都道府県および市町村） <input type="checkbox"/> 総務省消防庁 <input type="checkbox"/> 自衛隊	都道府県、市町村の初動体制の確保 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 危機対策本部の設置 <input type="checkbox"/> 消防相互応援協定の考慮 <input type="checkbox"/> 緊急消防援助隊の考慮 官邸対策室の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 緊急参集チーム招集考慮 <input type="checkbox"/> 各省庁災害対策本部の設置準備	出動途中 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 関係者（通報者）の現在位置、現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置に関する通報場所、風向等の変更情報の確認 <input type="checkbox"/> 関係者（通報者）の現在位置等の情報共有 <input type="checkbox"/> 二次集結場所の設定・周知 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切り替え	出動途中 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 関係者（通報者）の現在位置、現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切り替え	出動途中 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 関係者（通報者）の現在位置、現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切り替え	出動途中 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 関係者（通報者）の現在位置、現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切り替え		
0:10 出動 現着 情報収 警戒区 統制ラ の設定	災害状況の情報共有 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の特定 <input type="checkbox"/> 消防警戒区域 <input type="checkbox"/> 救助活動に係る情報 <input type="checkbox"/> 避難誘導に係る情報 <input type="checkbox"/> 複合的なテロ発生にかかわる情報 <input type="checkbox"/> 応援部隊等の必要性の有無 <input type="checkbox"/> 二次災害発生危険の有無 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 状況により有線、無線を活用し、現場指揮本部と情報共有 メディア対応 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 対応者の指定 <input type="checkbox"/> 個人情報・プライバシーの保護の徹底 <input type="checkbox"/> 捜査情報（警察機関）の流出防止の徹底 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 報道発表時間、場所等を決め、複数回実施するよう努める	所轄警察官の現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	一次集結場所へ部隊集結 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 二次攻撃の可能性を踏まえ、119通報や消防指令室が警察機関等から収集した情報等に「活動危険が高い」と判断される場合に、災害発生場所から風上側で、安全が確保されている、出動部隊が集結するのに適した場所に一次集結させる 現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	所轄警察官現場指揮官の ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 二次攻撃に関する情報や爆弾処理の専門的な活動能力を有する警察機関と連携のもとに活動すること	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮			
0:15			所轄警察官の現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮		
0:20			所轄警察官の現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮		
			所轄警察官の現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮	現場到着 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 現場の状況、発生経緯等 <input type="checkbox"/> 周囲の異常の有無（倒れている者、異臭等） <input type="checkbox"/> 車両部署位置 <input type="checkbox"/> 風上・風下（吹流し、発煙筒等の活用） 現場指揮本部の設置 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 指揮本部設置場所の周知 <input type="checkbox"/> 指揮宣言 ☆注意事項 <input type="checkbox"/> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 情報収集 ☆確認事項 <input type="checkbox"/> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 <input type="checkbox"/> 要救助者及び負傷者の人数及び症状 <input type="checkbox"/> 臭気等の異常の有無 <input type="checkbox"/> 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 <input type="checkbox"/> 住民等の避難状況 <input type="checkbox"/> 関係者による応急処置の内容及び実施状況 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 <input type="checkbox"/> 消防活動の留意点 <input type="checkbox"/> 警察機関への情報収集 <input type="checkbox"/> 現地調整所設置についての早期調整 <input type="checkbox"/> 増援や応援要請の考慮			



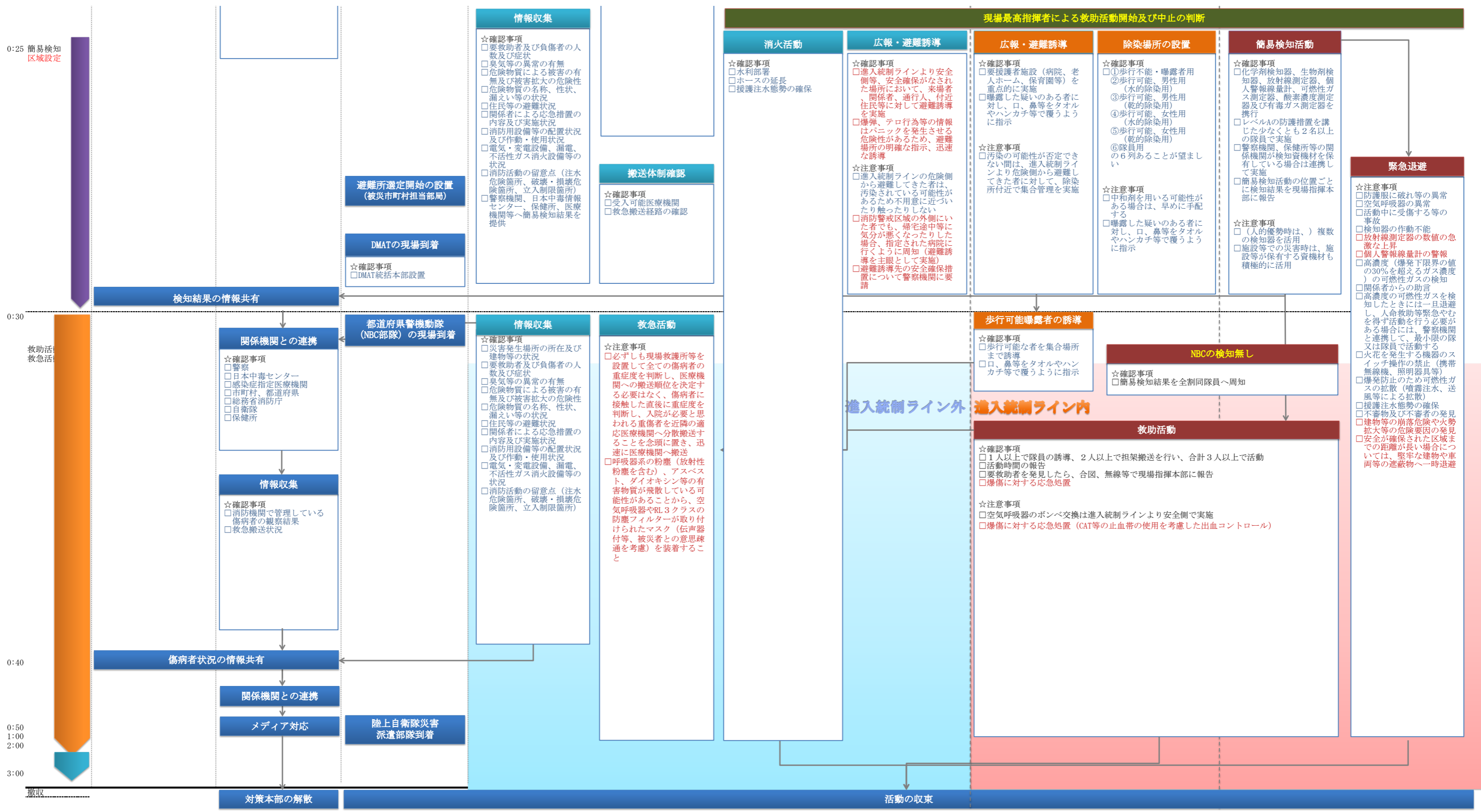
※各活動時における留意事項

- 現場最高指揮者の厳格な指揮統制のもと、緊密な連絡体制の確保を徹底し、単独行動厳禁とする。
- 爆発による建物の崩落危険等の活動危険に常に留意し、安全管理に努める。
- 爆傷による傷病者は耳を損傷していることが多く、会話による意思疎通が困難な場合があることを念頭に置いて、傷病者と接触する。
- 活動の開始及び中止の判断については、警察機関における安全性の評価を共有し、消防対策本部や関係者等からの情報と合わせて、現場最高指揮者が総合的に判断する。
- 被曝又は汚染のあった者は、専門家（医師等）と協議し、必要に応じ健康診断を実施すること。

※情報共有に関する留意事項

- 現地調整所において、各現地関係機関は現地調整所を構成する他の機関に対して、適時適切に情報提供すること。
- 特に、住民及び現地関係機関の職員の生命又は身体の安全確保に関する情報は、努めて迅速に共有すること。
- 不審者や不審物等の危険情報を把握した場合、警察機関と情報を共有し、進入統制ラインや消防警戒区域の設定を行う。

時間経過	通信指令部署 (消防指令室)	消防対策本部	想定される関係機関の動き	出動消防部隊					
				コールド (レベルC・D活動隊をイメージ)			ウォーム (レベルB活動隊をイメージ)		ホット (レベルA活動隊をイメージ)
				指揮隊	救急隊	消防隊	消防隊		救助隊
0:00 災害発	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生場所 倒れている人及び気分不良を訴えている人の人数及び症状 爆発被害の範囲 (同時又は連続して爆発が発生した等) 住民等の避難状況 事故経過 自爆行為者の目撃者又は目撃証言の有無 消防隊との接触の指示 不審者、不審物の有無 			<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 指令内容、災害状況等 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両両部署位置等 出動経路 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 周囲の状況を確認し危険がない場所 (BCマニュアル及びJRNマニュアルにおける進入統制ライン設定要領を目安) を部署目標 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 指令内容、災害状況等 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両両部署位置等 出動経路 隊員の防護措置 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両等の汚染拡大防護措置 (救急車内のポリエチレン等による養生) 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 指令内容、災害状況等 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両両部署位置等 出動経路 隊員の防護措置 水利 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 指令内容、災害状況等 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両両部署位置等 出動経路 隊員の防護措置 対応資機材の追加積載 (空気ボンベ、化学防護服、個人警報線量計、除染資機材等) 各種検知器の起動 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 指令内容、災害状況等 風向、風速、地形、建物状況、出動部隊規模、車両両部署位置等 出動経路 隊員の防護措置 対応資機材の追加積載 (空気ボンベ、化学防護服、個人警報線量計、除染資機材等) 各種検知器の起動 	
0:05	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要消防部隊の検出 必要消防部隊を確保するための方策 (消防相互応援協定、緊急消防援助隊) 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信指令部署との情報 <p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 所轄の警察機関 <ul style="list-style-type: none"> 二次攻撃の可能性 容疑者に関する情報 危険物質に関する情報 警察機関の集結場所 DMAT、医療機関 衛生主管部署 (都道府県および市町村) 総務省消防庁 自衛隊 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 都道府県、市町村の初動体制の確保 危機対策本部の設置 消防相互応援協定の考慮 緊急消防援助隊の考慮 <p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 官邸対策室の設置 <p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急参集チーム招集考慮 各省庁災害対策本部の設置準備 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者 (通報者) の現在位置、現場の状況、発生経緯等 周囲の異常の有無 (倒れている者、異臭等) 車両両部署位置 (に関する通報場所、風向等の変更情報の確認) 関係者 (通報者) の現在位置等の共有 一次集結場所の設定・周知 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切り替え 状況により有線、無線を活用し、消防対策本部と情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者 (通報者) の現在位置、現場の状況、発生経緯等 周囲の異常の有無 (倒れている者、異臭等) 車両両部署位置 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切り替え 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者 (通報者) の現在位置、現場の状況、発生経緯等 周囲の異常の有無 (倒れている者、異臭等) 車両両部署位置 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切り替え 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者 (通報者) の現在位置、現場の状況、発生経緯等 周囲の異常の有無 (倒れている者、異臭等) 車両両部署位置 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切り替え 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者 (通報者) の現在位置、現場の状況、発生経緯等 周囲の異常の有無 (倒れている者、異臭等) 車両両部署位置 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 車内の窓を閉め、エアコンを切り、車内循環モードへの切り替え 	
0:10 到着 情報収集 警戒区域 統制ライン の設定	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生場所の特定 消防警戒区域 救助活動に係る情報 避難誘導に係る情報 複合的なテロ発生にかかる情報 応援部隊等の必要性の有無 二次災害発生危険の有無 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況により有線、無線を活用し、現場指揮本部と情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両部署位置、後着隊の部署位置の報告 周囲の状況の報告 (倒れている者、異臭等) 関係者 (通報者) との早期接触 風上 (吹流し、発煙筒等の活用) 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場指揮本部の設置 指揮本部設置場所の周知 指揮宣言 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 進入統制ラインより安全側で、警察機関の現地指揮本部を考慮した、現場最高指揮者が安全であると判断した位置に設置 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場指揮本部の設置 おおよその傷病者数の把握 救護所の設置 救急指揮所の設置 消防警戒区域の外側にいた者でも、帰宅途中等に気分が悪くなったたりした場合、指定された病院に行くように周知 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 汚染拡大防護措置 (救急車内や救護所等の養生) 1次トリアージを実施する可能性がある場合は、救護所の設置とともに2次トリアージポストの設置を考慮する 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 部隊規模や以後の活動 (区域設定、除染所、救護所の設置、救急車の運用等) を考慮し必要となる距離・スペースを確保 外周を標識等により明示 風上・風下 (吹流し、発煙筒等の活用) 区域を警察機関と共有 症状のない通行人、住民の誘導及び進入規制を警察機関に依頼 消防警戒区域の範囲を明確に広報 区域内からの退避及び区域内への出入りの禁止又は制限 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 他機関と連携し、広報車や拡声器等を使用し、避難場所への誘導及び消防警戒区域からの退去を指示 要援護者施設 (病院、老人ホーム、保育園等) を重点的に実施 曝露した疑いのある者に対し、口、鼻等をタオルやハンカチ等で覆うように指示 消防警戒区域の外側にいた者でも、帰宅途中等に気分が悪くなったたりした場合、指定された病院に行くように周知 消防警戒区域内で症状の出していない者に対しても、救護所等へ向かうよう誘導を行い、観察を受けた後に消防警戒区域の外に出るように指示 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 先着隊より災害状況等を聴取 防護衣の完全着装 化学防護服の上に防火衣を着装した身体防護措置 (陽圧式化学防護服では火災・爆発に対応できないため) バックグラウンド値 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 静電気発生防止措置 (防護服、防火衣を水で濡らす。) 火災が発生している場合は、化学防護服の上に防火衣を着装した身体防護措置 (陽圧式化学防護服では火災・爆発に対応できないため) 		
0:15	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応者の指定 個人情報・プライバシーの保護の徹底 捜査情報 (警察機関) の流出防止の徹底 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 報道発表時間、場所等を決め、複数回実施するよう努める 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上自衛隊災害派遣要請の考慮 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 可能な限り早期に調整を図る 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生場所の所在及び建物等の状況 要救助者及び負傷者の人数及び症状 臭気等の異常の有無 危険物質による被害の有無及び被害拡大の危険性 住民等の避難状況 関係者による応急処置の内容及び実施状況 消防用設備等の配置状況及び作動・使用状況 消防活動の留意点 警察機関への情報収集 現地調整所設置についての早期調整 増援や応援要請の考慮 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	
0:20		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 一次集結場所へ部隊集結 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次攻撃の可能性を踏まえ、119番通報や消防指令室が警察機関等から収集した情報等により、活動危険の低いことが予測される場合は、災害発生場所から風上側で、安全が確保されている、出動部隊が集結するのに適した場所に一次集結させる 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 所轄警察官現場指揮官の確保 <p>★注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次攻撃に関する情報や爆弾処理の専門的な活動能力を有する警察機関と連携のもとに活動すること 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 		
		<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害状況の情報共有 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 	<p>★確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場到着 				



※各活動時における留意事項

- ・現場最高指揮者の厳格な指揮統制のもと、緊密な連絡体制の確保を徹底し、単独行動厳禁とする。
- ・爆発による建物の崩落危険等の活動危険に常に留意し、安全管理に努める。
- ・爆傷による傷病者は耳を損傷していることが多く、会話による意思疎通が困難な場合があることを念頭に置いて、傷病者と接触する。
- ・活動の開始及び中止の判断については、警察機関における安全性の評価を共有し、消防対策本部や関係者等からの情報と合わせて、現場最高指揮者が総合的に判断する。
- ・帰署後、身体に何らかの異常がある活動隊員は、病院受診する。

※情報共有に関する留意事項

- ・現地調整所において、各現地関係機関は現地調整所を構成する他の機関に対して、適時適切に情報提供すること。
- ・特に、住民及び現地関係機関の職員の生命又は身体の安全確保に関する情報は、努めて迅速に共有すること。
- ・不審者や不審物等の危険情報を把握した場合、警察機関と情報を共有し、進入統制ラインや消防警戒区域の設定を行う。